

なりたの教育

令和4年度



「給食の提供を開始した平成小学校学校給食共同調理場」(左上)

「全校遠足 豊住小学校」(右上)

「生徒による体育祭ライブ配信 西中学校」(左下)

「新たにオープンした滑河文化財保存展示施設」(右下)

成田市教育委員会

成田市民憲章

昭和46年11月3日制定

信仰のまち、世界に通ずるまち成田はわたくしたちのふるさとです。

ゆたかな自然と文化にめぐまれてきたわたくしたち成田市民は、大きな希望と誇りをもって世界に伸びようとしています。

わたくしたちは、成田のかがやかしい発展とおたがいのしあわせをねがい、この市民憲章をさだめます。

- 1 親切な心で
平和な成田をつくりましょう。
- 1 よろこんで働き
豊かな成田をつくりましょう。
- 1 きまりをまもり
住みよい成田をつくりましょう。
- 1 自然と文化を大切に
美しい成田をつくりましょう。
- 1 若い力をそだて
明るい成田をつくりましょう。

成田市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱

成田市教育大綱

成田市教育大綱は、本市の教育に関する基本的な方針として策定したものであり、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育みながら個々の能力を伸ばし、将来に夢と希望を持って自分の進むべき道を切り拓く力となるため、更には生涯を通して市民一人一人の能力や意欲を伸ばし、明るく、心豊かで、生涯を通じて学ぶことができるまちづくりを目指し、本市の教育の振興に関する施策の「大綱」として策定したものです。

平成28年6月策定
成田市長 小泉一成

基本理念

育てよう 心とからだ 学び合い みんなで築く 成田の未来

成田の教育において、未来を担う子どもたちの知識や技能の習得、更には人として大切な心を育み、健康で明るい人づくりを目指します。また、市民一人一人の能力や意欲を伸ばし、夢を実現できる生涯学習の形成と成田の歴史・文化を次代に継承し、世界に誇れる「成田の未来」をみんなで作くり上げ、成田を愛する心を育みます。

基本目標

- (1) 社会を生き抜く力を育む
- (2) 伝統・文化の理解と国際性を育む
- (3) 豊かな心・道徳性・規範意識を育む
- (4) よりよい学校教育環境づくりを進める
- (5) 様々な困難を抱えた子どもたちへの支援を充実する
- (6) 社会の変化に対応した教育を推進する
- (7) 生涯を通じた学習やスポーツに親しむ環境を推進する

はじめに

成田市教育委員会

教育長 関 川 義 雄

依然として、新型コロナウイルス感染症が私たちの日常生活に大きな影響を及ぼし続けていますが、この間、市内の各学校では、児童生徒一人ひとりに配備したタブレット端末が、授業の中で有効に活用されるようになっただけでなく、教職員の研修会や校務処理にも積極的に活用されており、ICT機器が、学習や仕事を進めるうえで、欠くことのできないツールとなっていることを実感しています。

一方で、学校教育においては、子どもたちが知識や技能を身につけるだけでなく、その成長過程において、出会う友達との人間関係づくりも大切な学びの一つです。コロナ禍により、マスクを着けて授業に臨んでいる子どもたちの現状は、実践を伴う活動が十分にできなくなっているのではないかと危惧する声もありますが、各学校では、感染予防対策を講じたうえでできる限り予定された行事を実施するよう努めております。

こうした中、入学時から長期にわたる休校を経験し、その後もマスク生活を余儀なくされながら、中学校生活を過ごした子どもたちが、今年度末には、卒業の時を迎えます。厳しい現状にあっても、健康な身体と高い志を持った子どもたちが、巣立っていくことを願わずにはられません。

さて、本年度は、本市で5番目となる親子方式による学校給食共同調理場を、平成小学校に開設し、平成小学校と加良部小学校に給食を提供できるようになりました。こうした親子方式による学校給食共同調理場では、食物アレルギーのある子どもたちに、アレルゲンを除去した給食を提供できるよう特別調理室を設けており、今年度は、学校給食共同調理場で、卵を除去したアレルギー除去食の提供を行っていく予定です。

また、老朽化した学校給食センター本所に代わる、新たな学校給食センターの建設に向けて、設計業務を進めるほか、子育て支援策の一つとして、第3子以降の給食費の無料化を開始しました。学校施設関連では、校舎の老朽化や、児童数の増加が顕著な学校には、それぞれ改修工事や増築工事等を実施し、子どもたちが進んで学び、伸び伸びと育つことができる、教育環境の実現を目指してまいります。

その他、学校教育のみならず、旧滑河小学校校舎を改修し、本年4月に、成田市滑河文化財保存展示施設をオープンしました。文化財の保存だけでなく、下総歴史民俗資料館と併せて、郷土の歴史を伝える貴重な資料等を展示してまいります。

なお、昨年度、一昨年度とコロナ禍で思うような活動ができなかった市民の皆様の自主的な学びを支援するため、生涯大学院や明治大学・成田社会人大学等の学習機会の確保はもちろんのこと、今年度は、感染予防対策を施したうえで、図書館や公民館を活用した様々な市民活動が、適切に実施できるよう努めてまいります。

目次

成田市の概要	1
1 沿革	1
2 位置・面積	1
3 人口・世帯数	1
教育委員会の概要	2
1 教育委員会	2
2 教育長・教育委員	2
3 事務局の組織・事務分掌	3
4 教育費	4
(1) 令和4年度の一般会計予算と教育費	4
(2) 平成23年度以降の一般会計決算総額に占める教育費の割合	4
(3) 令和4年度教育費の各種内訳	5
5 令和4年度教育委員会の主要事業	6
学校教育振興基本計画に基づく学校教育の推進	6
(1) 小中連携・一貫教育の推進	6
(2) 確かな学力と豊かな心の育成	8
(3) 国際教育・英語教育の充実	9
(4) 生徒指導・教育相談の充実	10
(5) 読書指導・学校図書館の充実	11
(6) 統合型校務支援システム	11
(7) 学校施設整備事業	11
生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進	12
(1) 明治大学・成田社会人大学	12
(2) 生涯大学院	13
(3) 家庭教育学級	13
(4) 放課後子ども教室	13
(5) 子どもの読書活動の推進	14
(6) 学校支援地域本部事業	14
学校教育	15
1 施策の概要	15
(1) 教職員の資質向上	15
(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）	15
(3) 特別支援教育の推進	15
(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実	16
(5) 学校体育の充実	16
(6) 安全教育の推進	16
(7) 情報教育の推進	17
(8) 学校評議員制度の活用	17
(9) 学校施設の管理と整備	17
(10) 学校問題解決支援事業	18

(11) 特認校支援事業	18
2 教育センター	19
(1) 学校支援の推進	19
(2) 特別支援教育の推進	19
(3) 教育相談	19
(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配付	19
3 教育支援センター	20
4 各学校・幼稚園の特色	21
5 学校給食センター	36
(1) 食に関する指導の充実	36
(2) 献立の充実	36
(3) 衛生管理の推進	36
(4) 地域との連携	37
(5) 給食施設の整備	37
(6) 第3子以降の学校給食費無料化	38
生涯学習	39
1 施策の概要	39
(1) 生涯学習の推進	39
(2) 家庭教育の充実	40
(3) 成人教育の充実	40
(4) 青少年教育の充実	40
(5) 社会教育関係団体活動の支援	42
(6) 文化財の保護	42
(7) 令和4年度 生涯学習課事業計画	44
2 公民館	46
(1) 魅力ある公民館活動の推進	46
(2) サークルの育成・活用の推進	46
(3) 公民館ボランティア推進事業	46
(4) こども体験学習セミナー	46
(5) 広報活動の充実	46
(6) 令和4年度 公民館主催教室・講座計画	47
(7) 令和3年度 公民館利用状況	48
3 図書館	49
(1) 図書館サービスの充実	49
(2) 子どもの読書活動の推進	50
(3) 公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス	50
(4) 障がい者サービス	51
(5) 令和4年度 図書館事業計画	51
(6) 令和3年度 図書館資料点数及び利用状況	52
資料編	53
成田市教育略年表	53
歴代教育長及び教育委員	56
市立学校の児童生徒数の推移	56

市立学校・幼稚園一覧	57
社会教育施設一覧	58
学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧	59
市内指定文化財等一覧	60
市内大学・高等学校・私立小中学校・私立幼稚園・私立認定こども園	63

成田市の概要

1 沿革

成田市は昭和29年に、町村合併促進法に基づき、成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の1町6村が合併して誕生しました。そして、平成18年3月に下総町、大栄町との合併により新しい成田市が誕生しています。

全国屈指の霊場成田山新勝寺と、宗吾霊堂を中心に門前町として古くから栄え、また、水と緑に恵まれた本市は、約3万年前から人々が生活を始めていたことが知られています。

今、成田市は、霊場と田園が醸し出す「静」と、近代文明の粋を集めた空港を持つ「動」の2つを兼ね備えた特色ある都市として、着実な歩みを続けています。

2 位置・面積

成田市は、千葉県の北部中央に位置し、北は利根川、西は印旛沼に接し、東南は広大な北総大地が続いています。

面積は、213.84km²です。



3 人口・世帯数

人口は、男性65,701人、女性65,319人、合計131,020人で、63,694世帯となっています。

(令和4年4月末現在)

教育委員会の概要

1 教育委員会

教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方教育行政を処理するために、市長から独立した行政委員会として設置された執行機関です。

また、平成27年4月1日から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置や、教育委員による教育長へのチェック機能の強化などの改革が行われました。そのほか、新たに市長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行い、市の教育政策の方向性を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、総合教育会議が設置されています。

教育委員会は、教育長と4名の委員により組織されており、いずれも市長が市議会の同意を得て任命しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です。

教育長は、教育委員会の会務を総理し（「教育委員会の会議を主宰する」、「教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどる」、「事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督する」）、教育委員会を代表します。

また、教育委員は、教育長に対するチェック機能を果たすため、会議の招集や教育長が委任された事務の管理・執行状況の報告を求めることができます。

教育委員会会議は原則として毎月1回開き、必要に応じて臨時会を開催しています。

2 教育長・教育委員



教育長
関川 義雄



教育長職務代理者
佐藤 勲



委員
片岡 佳苗



委員
岡本 秀彦

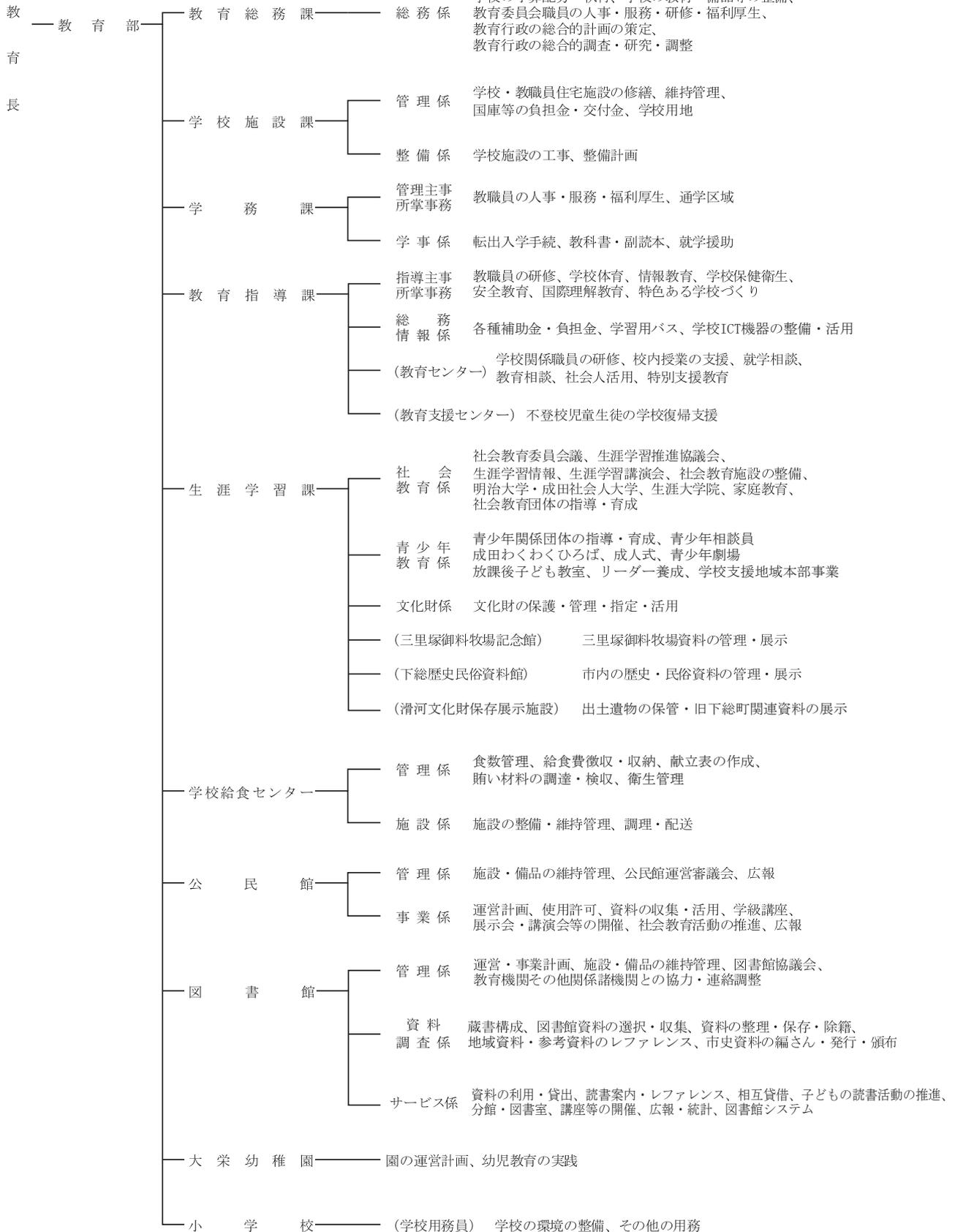


委員
日暮美智子

役職名	氏名	教育長・委員就任日	教育長・委員の任期
教育長	関川 義雄	H25. 4. 1	R3. 10. 1～R6. 9. 30
教育長職務代理者	佐藤 勲	H26. 10. 1	R4. 10. 1～R8. 9. 30
委員	片岡 佳苗	H29. 10. 1	R3. 10. 1～R7. 9. 30
委員	岡本 秀彦	R1. 10. 1	R1. 10. 1～R5. 9. 30
委員	日暮 美智子	R2. 10. 1	R2. 10. 1～R6. 9. 30

(令和4年10月1日現在)

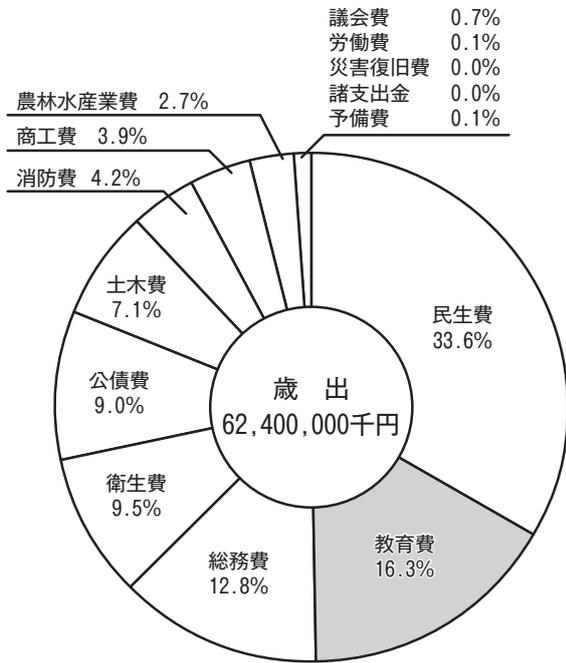
3 事務局の組織・事務分掌



(令和4年4月1日現在)

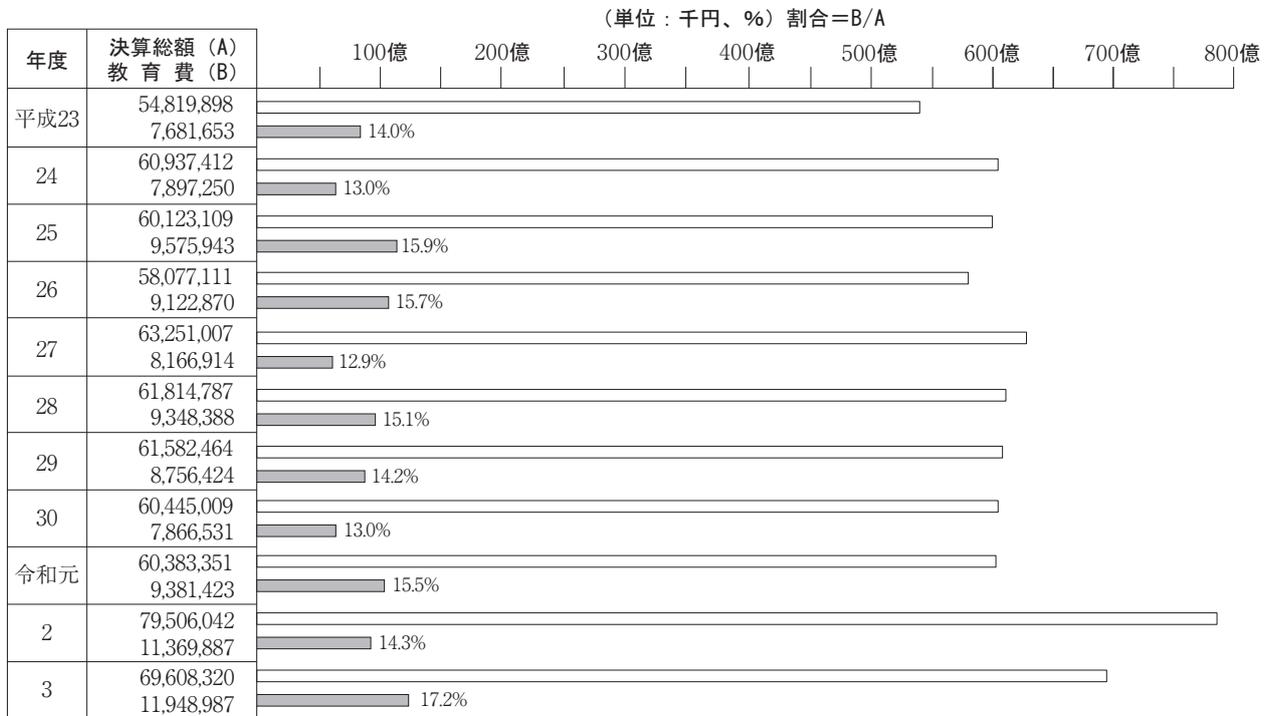
4 教育費

(1) 令和4年度の一般会計予算と教育費

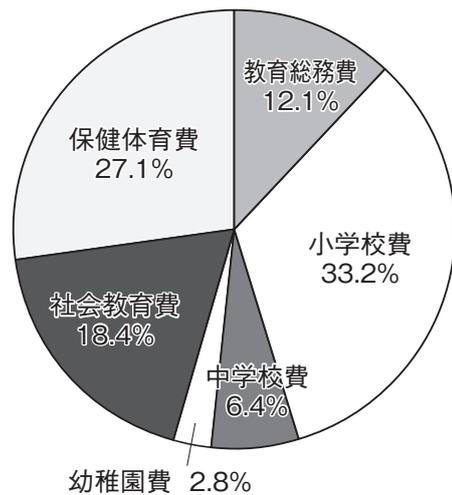


	予算額(千円)	比率(%)
議会費	415,116	0.7
総務費	7,983,765	12.8
民生費	21,001,756	33.6
衛生費	5,917,703	9.5
労働費	47,731	0.1
農林水産業費	1,660,494	2.7
商工費	2,446,301	3.9
土木費	4,417,526	7.1
消防費	2,639,605	4.2
教育費	10,171,392	16.3
災害復旧費	2,000	0.0
公債費	5,596,610	9.0
諸支出金	1	0.0
予備費	100,000	0.1
合計	62,400,000	100.0

(2) 平成23年度以降の一般会計決算総額に占める教育費の割合

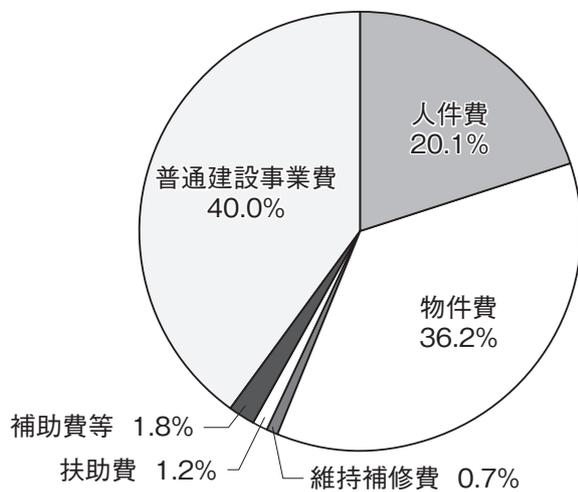


(3) 令和4年度教育費の各種内訳



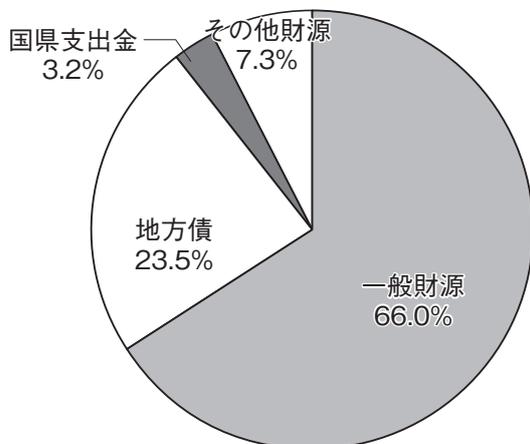
項別内訳

	予算額(千円)	比率(%)
教育総務費	1,230,343	12.1
小学校費	3,378,043	33.2
中学校費	651,282	6.4
幼稚園費	280,041	2.8
社会教育費	1,874,697	18.4
保健体育費	2,756,986	27.1
合計	10,171,392	100.0



性質別内訳

	予算額(千円)	比率(%)
人件費	2,057,260	20.1
物件費	3,682,035	36.2
維持補修費	66,366	0.7
扶助費	116,312	1.2
補助費等	186,347	1.8
普通建設事業費	4,062,972	40.0
積立金	100	0.0
合計	10,171,392	100.0



財源内訳

	予算額(千円)	比率(%)
一般財源	6,713,834	66.0
地方債	2,392,900	23.5
国県支出金	327,615	3.2
その他財源	737,043	7.3
合計	10,171,392	100.0

5 令和4年度教育委員会の主要事業

学校教育振興基本計画に基づく学校教育の推進

今日、少子高齢化の進行や高度情報化、グローバル化の進展などの社会情勢の大きな変化に伴い、教育を取り巻く状況においても、学力向上、道徳教育の充実、いじめや不登校の防止、教員の資質の向上や幼児教育の充実、家庭教育への支援、情報化への対応など、多くの課題があります。

本市ではこれまで、「成田市学校教育長期ビジョン」(平成13年度～平成27年度)のもとに、子どもたちの確かな学力や豊かな心など「生きる力」の育成を目指して、国際理解教育、英語教育、特別支援教育、情報教育、職業観を育むためのキャリア教育などに取り組むなど、特色ある教育を推進してきました。

これらの成果を受け継ぐとともに、現代の急激な社会情勢の変化に柔軟に対応し、夢の実現に向けてたくましく生きる子どもたちの育成を目指して、学校・家庭・地域社会が連携して、それぞれの学校や地域で創意工夫し、特色ある教育を推進していくための指針として、平成28年3月に、成田市学校教育振興基本計画「輝くみらいNARITA教育プラン」を策定しました。

これは、教育基本法第17条第2項に基づく「成田市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画(教育振興基本計画)」として策定したもので、本市の学校教育の現状と課題を踏まえ、策定後10年間(平成28年度～令和7年度)に、本市が目指す学校教育のあり方について基本的な方向性を示したものです。

この計画では、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育みながら個々の能力を伸ばし、将来に夢と希望を持って自分の進むべき道を切り拓く力を育むため、「子どもの多様な個性 能力を伸ばし 未来をひらく力を育む」を基本理念に定め、社会が大きく変化する中で、子どもたちが将来、自立した個人として未来を切り拓き、豊かな人生を送ることができるよう、個々の多様な特性や能力を生かした教育を推進します。

この基本理念の実現を目指し、次の6つの基本目標をもとに、各施策の推進を図ります。

- 第一に、社会を生き抜く力を育む。
- 第二に、伝統・文化の理解と国際性を育む。
- 第三に、豊かな心・道徳性・規範意識を育む。
- 第四に、よりよい学校教育環境づくりを進める。
- 第五に、様々な困難を抱えた子どもたちへの支援を充実する。
- 第六に、社会の変化に対応した教育を推進する。

(1) 小中連携・一貫教育の推進

小中連携教育とは、義務教育9年間において目指す児童生徒像を小中学校教職員が共有し、一人ひとりの子どもの成長に一層目を向けた一貫性のある指導を展開し、「生きる力」を育む教育の質的な向上を目指すことを目的とした教育です。本市においては、平成9年度から生徒指導の充実を目的として、中学校区で定期的に情報交換を図ることから始まり、平成19年度からは小中学校で

共通の学習のきまりや生活のきまりを設定し、共通した指導で児童生徒を育てたり、行事等で児童生徒間の交流を図ったりするなど、中学校区の特徴を生かした効果的な連携教育を推進してきました。

学校適正配置の取組による学校の新設、統廃合が進む中で、平成25年度はニュータウン地区の一部が学区を再編し、中学校区が変わりました。改めて将来を見据えた小中連携教育を以下の内容で計画的、継続的に実践していきます。

- ① 中学校区で目指す児童生徒像を設定し、小中連携教育を推進します。
- ② 中学校区校長会議を定期的実施し、学区内の実態把握、情報交換を図ります。
- ③ 生徒指導担当者会議を定期的開催し、生徒指導の充実を図ります。
- ④ 中学校区教職員の相互研修による授業公開を促進し、学習指導の共通理解を図ります。
- ⑤ 児童生徒が交流する行事や活動を設け、児童生徒間の相互理解を図ります。
- ⑥ 小中連携教育の実態を地域に発信し、地域、保護者の理解を深めていきます。

この小中連携教育をさらに進めた教育方法として、小中一貫教育があります。本市においては、9年間で途切れることのない一貫した教育課程による教育を小中一貫教育ととらえています。

平成26年4月に開校した下総小学校は、下総中学校との一貫教育を開始し、小学生と中学生が一つの施設で学ぶ施設一体型の小中一貫校としての実践を積み重ねてきました。その間に、学校教育法の一部を改正する法律が平成28年4月1日に施行され、これまでの小学校、中学校に加え、義務教育学校が新たな校種として位置付けられました。市ではこのことを受けて、成田市立下総小学校と成田市立下総中学校を、施設一体型小中一貫校である義務教育学校「成田市立下総みどり学園」として、平成29年4月1日より新たに設置しました。修業年限は9年間とし、学年区分は前期（1～4学年）、中期（5～7学年）、後期（8・9学年）の3区分とし、5学年から教科担任制による授業を行うとともに、児童生徒の交流授業、共通行事を実施しています。

また、令和3年4月1日に開校いたしました「成田市立大栄みらい学園」においても、「成田市立下総みどり学園」の教育活動の成果を基に施設一体型義務教育学校として、小中一貫教育を進めております。

このような小中一貫教育を展開することは、義務教育9年間を見通し、学校種を超えた教育活動を一層進めることとなります。教職員においては、小学校籍や中学校籍という壁がなくなり、免許を有していれば、1年生から9年生までの学級担任を持つことが可能となります。中期学年における連続した指導が可能となることで、中学校入学時の不安や心理的格差の解消を図るとともに、小中学校の教員が相互に指導に関わり、よりきめ細かい指導と専門性を生かした指導をすること、また児童生徒の交流により、よりよい人間関係の形成が目指せるものと考えています。

今後は、義務教育学校での教育活動の成果を積極的に小中連携教育に取り入れ、中学校区で特色ある学校づくりを進めていきます。

また、小中連携を充実させるために、市内全ての学校で、義務教育9年間で子どもを育てるという視点で教育活動が展開できるよう、教職員の意識改革に取り組んでいます。

(2) 確かな学力と豊かな心の育成

子どもたちに「確かな学力」が定着し、さらに一層の向上が図れるよう、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を確実に身に付けさせ、粘り強く学習に取り組み、自ら学習調整を行いながら、よりよく問題を解決できるよう努めるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

少人数指導・習熟度別指導など、個に応じたきめ細かな指導を積極的に推進するとともに、体験活動や問題解決の過程を工夫した学習活動を充実させることで、子どもたちが相互にかかわり合い、学ぶ楽しさを実感できる学校づくりを進めます。

中学校3年生以外の全児童・生徒を対象に成田市学力調査を実施し、経年での学習状況の変化などさらに詳しい学習状況の把握に努め、児童・生徒個々の実態に応じたきめ細かい学習支援を実施します。

また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな心」を育むために、考え、議論する道徳教育の充実、学校・家庭・地域が連携した体験活動への積極的な参加、充実した読書活動を推進します。

これらの実現のために、教職員の指導力向上を目指した研修会支援や、市教育委員会主催各種実践研修にも計画的に取り組んでいます。

さらに、平成28年度から指導用デジタル教科書を市内全学校に配置することにより、授業の質の改善が図られるとともに、教職員にとっては授業準備の負担が軽減され、児童生徒と向き合う時間の確保につながっています。

市内の学校には、学校サポート教員及び小規模学校支援教員（※）、養護教諭の資格をもつ健康推進教員を配置し、これまで以上に学力の向上を目指した少人数学習を中心とした指導方法の工夫改善に努めるとともに、教育相談・生徒指導面におけるきめ細かな指導体制を強化し、児童生徒一人ひとりのニーズや個性に応じた教育の一層の実現に努めます。本年度は学校サポート教員を37名、小規模学校支援教員を2名、健康推進教員を12名、合わせて51名を配置を行います。



学校サポート教員の配置

本務教員と学校サポート教員及び小規模学校支援教員が連携してチーム・ティーチングや学級・学年を分割して授業を行うことにより、習熟度別・課題別学習を実施し、児童生徒の実態等に応じて発展的な学習や補充的な学習などを実施することが可能になります。また、総合的な学習の時間における問題解決学習や様々な体験的学習を行う上でも人的な支援・援助ができるため、より充実した児童生徒の活動を展開することができます。このような授業方法を工夫改善することにより「楽しい授業・わかる授業」を実現し、より個に応じた指導の充実を図るとともに、基礎学力の定着を図るものです。

また、健康推進教員の配置により児童生徒の心身のさらなるケアに努めています。様々な悩みを抱えて生活している児童生徒に対し、「心の居場所」としての保健室の機能をより高めるため児童

生徒数の多い学校を中心に配置し、心身両面からの支援を行っています。

※小規模学校支援教員…2複式学級以上を有する小学校に配置

(3) 国際教育・英語教育の充実

国際空港都市成田の将来を担う児童生徒に、日本人としての自覚を持ち、異文化理解などの国際性や、英語によるコミュニケーション能力を育むために、全国でも先進的に取り組んできた国際教育・英語教育の一層の充実を図ります。

平成15年度から内閣府の構造改革特区制度を活用して取り組んできた「国際教育推進特区」は、平成20年度から文部科学省の「教育課程特例校」として継続しています。

これにより全国では3年生から開始される英語教育を、市内の全小学校及び義務教育学校前期課程では1年生から開始し、1～4年生で0.5単位時間を週2回、5・6年生で0.5単位時間を週2回と1単位時間を週1回の英語科授業を実施しています。全中学校及び義務教育学校後期課程では年間標準時数140時間の英語科授業を1年生155時間、2・3年生158時間に増やして実施しています。

また、外国人英語講師（ALT）を各学校に配置し、小学校及び義務教育学校前期課程では市が独自に作成している「小学校英語科標準年間指導計画」をもとに、全ての英語科授業で日本人教師とALTとのチーム・ティーチングによる指導を行っています。中学校及び義務教育学校後期課程においても、ALTを各学校に配置し、英語科授業や学校生活全般を通して、英語に触れる機会を多く設けています。教育委員会に常駐している主任外国人英語講師2名によるALTの指導を行い、英語科授業のレベルアップを図っています。

さらに、英語教育に関する検討委員会を開催し、大学教授等、英語教育の専門家から広く意見を聞き、本市の英語教育の方向性を検討するとともに、市で独自に作成している「小学校年間指導計画」及び「中学校拡充英語指導案」の見直しを毎年行うとともに、英語科授業や様々な教育活動を通して、国際教育・英語教育を推進します。



担任とALTによるチーム・ティーチング

(4) 生徒指導・教育相談の充実

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人ひとりの児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助を行います。単なる問題行動への対応という消極的な面にとどまることなく、問題行動を生み出さない積極的な生徒指導を推進します。

そのために、生徒指導の基本である人間関係の構築を基本に、生徒指導の機能を生かした、生徒が自己存在感、達成感、成就感を感じる、わかる授業づくり、誰もが安心感を得られる学級経営に努めます。

暴力行為、いじめ、携帯電話等に関わるトラブル、不登校、児童生徒の問題行動等については、原因や背景は個々の事例により様々であり、学校・家庭・地域社会それぞれの要因が複雑に絡み合っており発生しているのが現状です。いじめについては、学校いじめ防止基本方針に基づく対応並びに本市いじめ問題対応マニュアルの活用を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めるとともに、SOSの出し方教育と教育相談体制の充実を図ります。

また、指導主事が積極的に学校を訪問し、問題解決に向けた支援や対応とともに考えていくとともに、生徒指導主事（主任）研修会の充実を図ります。「中学校区小中生徒指導連絡会」を実施し、小中学校間の連携の充実を図るとともに、庁内関係課、児童相談所、北総地区少年センター、警察等の関係機関との連携をより一層強化します。

不登校対策としては、教育センターに公認心理師の資格を有するカウンセラー2名を配置しており、うち1名は市内の児童生徒・保護者及び教職員を対象に教育相談を行い、児童生徒が抱える様々な悩みや不安の軽減・解消を図ります。もう1名は、教育支援センター「成田市ふれあいるーむ21」に通う児童生徒とその保護者を対象に教育相談を行い、学校復帰や社会的自立を支援します。

さらに、市内10校の小学校と2校の義務教育学校を拠点校として教育相談員を配置し、近隣の小学校に在籍している児童・保護者を対象とした教育相談活動を実施し、市内全学校に配置されているスクールカウンセラーとともに保護者や子どもたちの様々な悩みや不安に対応していきます。

また、家庭から出られない児童生徒の支援のために、巡回指導員を配置して家庭訪問等の支援を行います。

そして、令和4年度からは社会福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを市で雇用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、問題解決に向けて必要な支援を行っています。

(5) 読書指導・学校図書館の充実

学校図書館は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするなど、子どもの読書活動を推進する場であるとともに、「総合的な学習の時間」や各教科の中で課題学習や調べ学習など児童生徒の自主的・自発的な学習活動を展開していく場として、学校の教育活動において重要な役割を持っています。

学校図書館のこうした機能の充実のために、学校図書館司書を雇用し、レファレンスサービス（参考資料や情報の提供業務）を提供するとともに、図書購入、蔵書のデータベース化など様々な環境整備の充実に取り組んでいます。

本年度は引き続き25名の学校図書館司書を、全ての学校に週2日以上配置します。子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりに向け、学校図書館司書と司書教諭や市立図書館との連携をより一層強化し、学校図書館の活用の充実を図ります。

(6) 統合型校務支援システム

統合型校務支援システムは、学籍や出席簿の管理、通知表作成などの成績処理、指導要録や調査書の作成、健康診断などの保健に関する機能を持つもので、平成30年度から本格稼働しました。

このシステムの導入により、教職員が子どもたちの記録を蓄積・共有・活用することができ、情報を一元管理することで、校務を効率的に進めることができます。また、各機能間で情報が連携されるため、帳票間での転記の手間やミスを削減することができ、教職員の負担を軽減することができます。

(7) 学校施設整備事業

経年により老朽化した学校施設の教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図るため、令和3年3月に策定した成田市学校施設長寿命化計画に基づき、本年度と来年度で玉造小学校及び中台小学校の長寿命化改修工事を行うとともに、老朽化が進んでいる成田小学校の改築基本計画を策定します。

また、平成小学校の児童数増加による教室不足に対応するため、令和5年1月の供用開始に向けた増築工事を進めるとともに、本城小学校の児童数増加による教室不足に対応するため、令和6年度の供用開始に向けた増築工事の設計に着手します。

さらに、久住小学校の児童数の増加による一時的な教室不足に対応するため、仮設校舎の整備を行います。

また、校舎や避難所となる体育館に多目的トイレの整備など近年の生活様式に対応した改修や変化する教育現場にふさわしい施設整備を実施します。

生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進

教育基本法の第三条では、「生涯学習の理念」を「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と定めています。

市では、平成23年2月に第2次成田市生涯学習推進計画を策定し、その中で、生涯学習を「人々が、いつでも、どこでも、自由に学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会を構築することであり、学校教育や公民館における講座等の学習機会に限らず、自ら進んで行う学習やスポーツ・レクリエーション活動、文化活動、ボランティア活動、趣味などの様々な学習活動」と定義し、関連施策を推進してきました。

この間、社会情勢を見てみますと、少子高齢化社会の到来、急速な技術革新など、社会構造だけではなく、私たちが生活していくうえで必要不可欠となっている日常生活に関わる技術もめまぐるしく変化し、それに伴って市民の学習ニーズも多種多様化してきました。

このような状況を踏まえ、市民一人ひとりが社会情勢の変化にも柔軟に対応しながら、生涯にわたって自ら学習し、それぞれが培った様々な経験・知識・技能を地域社会に生かしていく「まちづくり」の構築を目指して、令和3年3月に「第3次成田市生涯学習推進計画」を策定しました。

本年度は、市民と連携・協働し、誰もが生涯にわたる生きがいを持ち、その成果をまちづくりに生かせるよう、「明治大学・成田社会人大学」をはじめ、「生涯大学院」、「高等学校等開放講座」などの開催により生涯学習機会の充実に努めます。また、放課後子ども教室などの子どもの居場所づくりのさらなる充実、子どもの読書活動の推進を図り生涯学習社会の実現に努めていきます。

(1) 明治大学・成田社会人大学

高まる市民の学習ニーズに対応し、より専門的な学習機会を提供するとともに、激動する世界情勢の変化に対応できる「国際市民」を育むことを目的として、平成9年度から「明治大学・成田社会人大学」を開講しています。

平成14年度から、称号付与制度（修学士・教学士・弘学士）を開始し、学習意欲の向上に努めており、学習成果を「まちづくり」に生かせるよう、カリキュラム編成を行います。

【令和4年度 学習テーマ】

- 国際社会課程 ：揺らぐ世界秩序を地政学・地経学から考える
- ライフマネジメント課程：ライフスタイルマネジメント～健康な生活から資産の運用まで～

(2) 生涯大学院

60歳以上の人を対象として、社会環境の変化に順応していくための学習機会を提供し、高齢者が社会の担い手として能力を地域社会のために生かし、新たな生きがいを創造することを目的に、3学年制による生涯大学院を開設しています。

○教養講座：成田の歴史、健康、環境問題等の一般教養（各学年 年間20回程度）

○専門講座：書道、園芸、陶芸、油絵、音楽、体操（選択制 年間15回）



グラウンド・ゴルフ教室



書道・陶芸・油絵展

(3) 家庭教育学級

親等が家庭で子どもの教育を行う上で必要な心構え・扱い方・留意点などを、集団で意図的・継続的に学習し、望ましい親の在り方や子どもに対する教育の資質を高め、親同士が繋がることを目的に実施しています。小学校・中学校・義務教育学校が「健康・安全」「食育」「子育て・しつけ」「地域」、幼稚園・保育園・子ども園が「健康・安全」「食育」「子育て・しつけ」「読書」の4項目を重点テーマに、市立学校28校（30学級）のほか、私立幼稚園2園・私立保育園2園の計34の家庭教育学級を開設します。

(4) 放課後子ども教室

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して子どもの居場所を設け、地域の方の参画により、外遊びや自主学習、スポーツ、ものづくり等の体験学習の機会を提供します。



スポーツ鬼ごっこ（中台小学校）

(5) 子どもの読書活動の推進

「成田市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境づくりを目指し、子どもの読書活動推進にかかる施策を総合的に推進します。

(6) 学校支援地域本部事業

地域住民が学校支援地域ボランティアとして、学校活動をサポートする体制を整備し、地域とともに歩む学校づくりを進めます。学校とボランティア間の連絡調整の役割を担う地域コーディネーターを各校に配置し、ボランティアによる学習支援や通学路の安全確保などの学校支援を、より効果的に行えるように取り組んでいます。これにより、教員が子どもと向き合う時間を確保し、教員の負担軽減を図ります。本年度は16校で実施しています。

学校教育

1 施策の概要

(1) 教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、学び続ける教職員を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

- 教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ
- 教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求する
- 学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーを育成する
- 小学校理科実技研修会…若手教員等を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ

等の研修会を開催しています。

(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。また、GIGAスクール構想の実現や新学習指導要領で求められる資質・能力の育成など、学校の在り方の変革が求められる中で、自主的、創造的な取組を通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営が推進されるよう、引き続き支援を行います。

(3) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）、自閉症スペクトラムなど、障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーターの資質向上と校内組織の充実を目指しています。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有した特別支援教育巡回指導員4名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

さらに、個々の障がいの種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍

する児童生徒の障がいの程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。本年度は41名の養護補助員を23校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする、児童生徒への支援を充実するため、平成20年度から特別支援教育支援員を配置しており、本年度は20名の特別支援教育支援員を20校へ配置しています。

(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実

市内全学校にスクールカウンセラーが配置され、さらに市として拠点となる小学校10校と義務教育学校2校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係校教職員等からなる教育相談連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携や外部機関との連携など、効果的な教育相談体制の確立に努めています。

(5) 学校体育の充実

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。

そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。体育授業においては、優れた指導力を有する教員から指導技術を学ぶための研修会等を実施していきます。

また、小学校1・2年生体育科の「水遊び」(低学年水泳指導)の充実のために、小学校9校に体育実技指導協力者を派遣します。

さらに、運動部活動の顧問教諭による技術指導が困難な学校に対して、専門的な指導力を備えた外部指導者を派遣し、運動部活動等の更なる充実及び活性化を図ります。本年度は中学校8校に、26名の指導者を派遣しています。

(6) 安全教育の推進

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導(不審者対応訓練や避難訓練の実施、交通安全教室の開催等)の充実を図ります。

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額を補助

防犯・安全情報

2021年5月6日(木) 14:40

こちらは防災成田です。
教育委員会から地域の皆様をお願いいたします。子どもたちの下校時間になります。下校中の安全対策、見守りに御協力をお願いいたします。
児童生徒のみなさんも、交通ルールを守り、安全に下校しましょう。
成田市教育委員会 教育指導課
0476-20-1582

防犯・安全情報を配信

します。

子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校1年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配布するとともに、児童及び生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、防犯・安全情報等はなりたメール配信サービスを通じて保護者に連絡します。

さらに、関係機関や関係各課と連携を図りながら、「成田市通学路交通安全プログラム」をもとに成田市通学路安全推進連絡協議会を組織し、交通安全・防犯の両面から通学路における危険箇所の改善に取り組み、より一層の登下校の安全確保を図ります。



通学路合同点検

(7) 情報教育の推進

1人1台タブレット端末と、高速大容量の通信ネットワークを整備し、特別な支援を必要とする児童生徒を含め、多様な子どもたち一人ひとりに個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指しています。

各学校に、ICT支援員や教育指導課指導主事を派遣し、学習者用端末、大型ディスプレイ、指導者用デジタル教科書等の効果的な活用について、助言・指導を行い、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・NPOなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会の開催を推進します。

(8) 学校評議員制度の活用

地域住民の学校運営への参画を得て、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校ごとに学校評議員を委嘱しています。

学校評議員の職務は、校長の求めに応じて、校長の行う学校運営に関して意見を述べることです。学校・家庭・地域が手を携えて、より良い教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声を把握しながら適正に学校運営を行うことを支援していきます。各学校の創意工夫を生かした取組の一層の充実を図ります。

(9) 学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改修工事を計画的に行うとともに、児童生徒の増加による教室不足に対応するため増築工事を実施します。また、バリアフリーに配慮した整備や、地球温暖化防止を視野に入れた太陽光発電の導入も進めています。

(10) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取組だけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、公認心理師、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校の支援をします。

また、いじめによる自殺などの重大事態が発生した場合に備えて、平成26年度からチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置しています。

(11) 特認校支援事業

令和3年4月から豊住小学校は、「小規模特認校」となりました。少人数ならではの、きめ細かな指導や地域の特性を生かした活動など、特色ある教育を行う学校を「小規模特認校」とし、そのような環境で学びたい（子どもを学ばせたい）と希望する場合に、一定の条件のもと市内全域から通学を認めています。

豊住小学校では、これまでも恵まれた自然環境や、地域の歴史と伝統を生かした教育を推進してきましたが、「小規模特認校」となったことにより、さらに特色ある教育づくりを進めていきます。



3年総合「伝統芸能体験」



6年国際交流学習



全校遠足



全校集会「ハロウィン集会」

2 教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

(1) 学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。また、教育センターだよりを発行し、本市の教育情報や成田市学力調査の結果や考察等を市内教職員で共有しています。

各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、ラミネート機を使った教材・資料の作成等も行います。

(2) 特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年4回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者からうかがいながら、保護者と就学先についての相談を行います。委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達の程度や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指しています。

また、通常の学級に在籍するLD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）等を含めた発達障がいなどのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を3名配置しています。

(3) 教育相談

教育センターと教育支援センターに1名ずつ公認心理師（1週間に1日程度）を配置し、担当指導主事と共に不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、成田市内の精神科医又は臨床心理士を派遣します。

(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配布

児童が地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、指導の手引き、評価テスト、白地図等の改訂作業を毎年行い、大きく発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。平成22年度から隔年発行しています。

3 教育支援センター

教育支援センターは、学校不適応等により登校できないでいる児童生徒が社会的自立に向けて学校に復帰できるよう、適応指導教室「ふれあいるーむ21」の運営を行うとともに、教育相談業務を行います。

教育支援センターでは、専任の指導主事を1名配置するとともに、8名の指導員が児童生徒の支援にあたります。また、通所する児童生徒一人ひとりにきめ細かく対応するため、「公認心理師」を教育支援センターに配置（1週間に1日程度）し、通所する児童生徒及び保護者に教育相談を実施するとともに、家庭から出られない児童生徒のために、巡回指導員を配置し、家庭訪問等の支援を行います。さらに、月1回程度、様々な講師の助言を受けケース会議を行い、児童生徒の学校復帰や社会的自立を目指しています。

また、担当指導主事、指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にし、通所する児童生徒一人ひとりの学校復帰の足がかりとします。



教育センター・教育支援センター



教育支援センター「ふれあいるーむ21」

4 各学校・幼稚園の特色



成田市立成田小学校
(創立 明治6年)

児童数 632人
学級数 23学級

自主創造を合言葉に、やさしく・かしこく・たくましく生きる成小の子の育成に向けて、学校・家庭・地域が一体となり、教育活動を進めています。本年度は特に「児童の自尊感情育成」に努めています。また、LALALA教室（個別支援）やRURURU（通級指導教室）を有効に活用して、個別支援や児童の多様な教育的ニーズに対応できる学びの場合の一層の充実を図ります。

本校の特色ある活動としては、6年生がキャリア教育の一環として「キャリアトーク」を実施しています。昨年度は、本校出身の元Jリーガーや様々な職業の方を本校にお迎えし、それぞれの職業のやりがいや工夫、苦勞などを直接聞き、将来について考えました。また、成田山新勝寺の表参道が近くにあることから、参道を歩く外国人に声をかけ、自分たちが英語の時間に練習してきたフレーズを使って話をする「参道活動」を行っています。



本年度より始まった「朝読」
先生とともに本に向き合います



1年生と6年生の学年交流会
とても貴重な「共有体験」の時間



成田市立遠山小学校
(創立 明治35年)

児童数 51人
学級数 7学級

本校の周りには、学校林「駒の森」があります。この森は長年にわたり地域の方々と守り育ててきた里山で、地域の誇りでありシンボルでもあります。カタクリの花やアカハライモリに代表される動植物を生かした学習を展開しています。学校教育目標「育て駒っ子 かしこく やさしく 健やかに ～ふるさとを愛し未来をたくましく切り拓く～」を実現するために、児童の豊かな人間関係づくりを基盤とし学習指導の充実を図りながら、家庭や地域と連携し、地域とともに歩む開かれた特色ある学校づくりを進めています。また、学区には成田国際空港があることから、地域が発展するときに必要な能力を高める英語学習やキャリア教育にも力を入れています。

保護者・地域の方々には本校への関心が高く協力的であり、地域人材を活用した「素敵な先輩シリーズ」と題する授業は、児童に貴重な体験や感動を与えています。



コロナに負けず頑張ろうを願って
今年の文字「楽」



駒の森をきれいにしています



成田市立三里塚小学校
(創立 昭和25年)

児童数 374人
学級数 18学級

明治24年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和25年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。

樹齢400年を超える「大榎」をはじめとする樹木に囲まれた自然豊かな学校で、学校教育目標は「夢に向かってがんばる子ども」です。子どもたちに「夢や希望、目標」をしっかりとめさせ、あきらめずに挑戦して「わかった・できた」という成功体験を積み重ね、「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にしていきます。そして、子どもたちの心に残る（記憶に残る）小学校にしたいと考えています。

また、遠山地区の小中学校では、小小及び小中連携を積極的に推進しており、共通の「家庭学習の手引き」、「生活の手引き」の作成・活用や、生徒指導上の課題についての情報交換などを行っています。地域の方々とも連携を図りながら、児童の育成に力を入れています。



1・5年生「交通安全教室」
交通安全について学びました。



「書き初め教室」
講師の先生に教えて頂きました。



成田市立久住小学校
(創立 平成23年)

児童数 497人
学級数 18学級

学校教育目標「夢をめざし 心豊かに たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子、ずっと仲よし心やさしい子、みんな元気でたくましい子、気づき・考え・行動する子」を目指して教育活動に取り組んでいます。学区は成田市のほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。居住人口も増え、児童数も年々増加しています。そのような中、保護者や地域の教育への理解や支援がとても厚く毎年、「さつまいも苗植え」、「米作り体験」「地域探検」など、地域人材を活用し、豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。本年度も、オリンピック・パラリンピックを活用した教育（心のバリアフリー）に取り組み、自国の文化や伝統に対する理解を図るとともに、ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てていきます。さらに国際交流活動の充実と障がい者理解に努めていきます。



2年ぶりの部活動開始
大会に向けて全力疾走



学習ボランティアさんによる
田植え体験学習



成田市立豊住小学校
(創立 明治22年)

児童数 41人
学級数 7学級

本校学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、東は根本名川が注ぐ、緑豊かな田園風景が広がり郷土の文化や伝統が息づく歴史ある地域です。祖父母や保護者の多くが本校を母校とし、学校に対して非常に協力的です。本年度「ふるさとを愛し 共に未来を拓く 児童の育成」を学校教育目標として掲げ、スローガンを『みんなで考え みんなでつくる 豊住小』とし、小規模校特認校としてスタートし2年目になります。本校の特性を生かしたきめ細かな教育を推進して、主体的に生きる資質・能力の育成を図ります。そして、教育活動を充実するために、英語教育をより一層推進したり、地域の人的・物的資源を積極的に活用したりしていきます。福沢諭吉翁由来の校訓「独立自尊」の教えを体得することを本校の「不易」とし、地域との連携を一層密にして、地域コミュニティの核としての学校づくりを進めています。



英会話課外活動を実施し、
日常的なコミュニケーションの力を身に付けます。



陶芸体験を行い、陶芸文化に触れながら
作り出す喜びを感じ、創造力を育てます。



成田市立八生小学校
(創立 明治6年)

児童数 52人
学級数 7学級

本校は明治6年に押畑学校として開校し、本年創立149年目を迎える伝統ある学校です。学区は、成田市街の中心より北西へ約3km離れた松崎・上福田地区の台地とその大地を取り巻くように大竹・宝田・下福田地区の平地地帯が広がり緑豊かな自然に恵まれています。地域住民は、学校への関心が高く、行事や奉仕活動などのボランティアにとっても協力的です。

学校教育目標「やさしく かしこく すこやかに」のもと、基本的な生活・学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域との連携を重点目標に掲げています。健やかな体づくりを目指し、全校で「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」運動を推進しています。また、学校全体で朝読書や詩の暗唱、計算・漢字検定、なわ跳び検定に取り組んでいます。さらに、縦割り活動や地域との交流、海外の小学校との国際交流、豊住小学校と連携した社会科見学等、小規模校のよさを生かした学校づくりを実践しています。



成田線開業120周年記念電車の通過を全校でお祝い



台湾の小学校とのオンライン交流会



成田市立公津小学校
(創立 明治6年)

児童数 134人
学級数 8学級

明治6年開校の本校は、本年度創立149年を迎えました。『心豊かで 自ら学ぶ たくましい児童の育成』一すべては 夢を抱き 輝く公津っ子のために！一を目標に掲げ、地域とともにある学校づくりを推進しています。昨年度より学校支援地域本部を設置しました。地域コーディネーターの調整のもと、学校支援ボランティアの方々のお力を借りて、児童の多様な学びを支える取組を進めています。

特に「(あ) かるいあいさつ (じ) ぶんから (さ) きに (い) おうね公津っ子」を合い言葉とする【あじさい運動】に力を入れ、いつでもどこでも自分から挨拶ができる礼儀正しい児童を育成すること。また全校縦割り班での運動遊びを軸とした「杉の子班活動」や、様々な特技を持った方々とのふれあいなどを計画的に教育課程に位置づけ、自他の考えを大切に、ともに認め合う心を涵養することの2点に重点を置いています。



杉の子班での全校歩行会
公津の杜公園で長縄跳び



親子ふれあい杉の子フェスタ
宗和会 踊りの披露



成田市立向台小学校
(創立 昭和47年)

児童数 224人
学級数 13学級

成田ニュータウンの中に最初に開校した小学校で、昨年度創立50周年を迎えました。中台3・4・6丁目を学区とし、周辺には公園が点在し、緑道が整備された緑豊かで静かな環境です。保護者の学校教育への関心は高く、環境整備、防犯等に関するボランティア活動にも協力的です。学校教育目標は「新しい時代を創造する 心豊かで たくましい児童の育成」であり、合い言葉「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」のもと、224人の児童が各教科の学習をはじめ、学校行事、花の栽培、運動・音楽等に熱心に取り組んでいます。

本校は学校支援地域本部事業の推進と家庭・地域との連携強化に努め、「地域とともにある学校」を目指しています。子どもを真ん中に据えて、保護者・地域・職員が一体となって、子どもたちが楽しい学校生活を送れるように努めています。



花いっぱい



歌声いっぱい



成田市立加良部小学校
(創立 昭和48年)

児童数 474人
学級数 20学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、飯田町・江弁須地区及びニュータウンの加良部地区で学区を形成し、474名の児童が在籍する学校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が日赤病院内に設置されています。本年度は創立50周年の記念の1年として、準備委員の方々、子どもたちとともに心に残る行事を計画しています。全職員の活気と連帯感に満ちた和の中で、教職員一人ひとりの主体性や特性が生かされる組織運営を目指すとともに、学校・保護者・地域との深い信頼と連帯の中で、子ども一人ひとりの「生きる力」を育てています。そして、「《夢をもち 未来を拓く》確かな学力を身に付け、心豊かで、健康な子どもを育てる」の学校教育目標のもとで、本年度も学校・保護者・地域が一致団結して「よく遊び よく学び よく働く からべっ子」を育てています。



新入生へのお手伝い活動
「見てね。こうやってそうじするよ。」



リサイクル大作戦
ペットボトルの回収



成田市立橋賀台小学校
(創立 昭和50年)

児童数 225人
学級数 10学級

昭和50年に成田ニュータウン3校目の小学校として開校しました。橋賀台1～3丁目の集合・個人住宅に囲まれた静かな教育環境の中、碧い芝生の広いグラウンドが自慢の学校です。子どもたちは、校舎改修3年目の清潔感あふれる整った環境の中で、学校生活を送っています。

「自他ともに大切にし、未来をひらく力をもつ子どもの育成」とリニューアルした学校教育目標も2年目となり、全教育課程を通して「よく考えて進んで学ぶ子」「思いやりがあり助け合う子」「丈夫でがんばりぬく子」を育成しています。未来をひらく力として必要な資質・能力を高めるため、SDGsの理念を教育活動に意識的に取り入れながら、各教科の学習以外にも道徳教育、人権教育、福祉教育、環境教育、キャリア教育など横断的な学習に力を入れ、心豊かな次代を生きる児童の育成に努めています。



5年生児童が作り上げた田畝で
たくさん実った「橋賀台米」



見えない世界を体験し、
私たちにできることを考えた白杖体験



成田市立新山小学校
(創立 昭和52年)

児童数 203人
学級数 10学級

本校は、成田ニュータウンの中央部に位置し、学区は加良部1、3、4、5丁目からなり、創立46年目を迎えました。校訓「みんななかよし丈夫に育て」のもと、学校教育目標に「夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童の育成～やさしく かしく たくましく 希望の登校 満足の下校の実現」を掲げ、教育活動の充実に努めています。

特色ある教育活動として、思いやりリーダー性を育成するため、縦割り交流活動「すくすく班」での清掃、定期的なレク活動、長なわ跳び大会等、様々な取組をしています。また、地域の協力を得て、読み聞かせ、福祉体験学習、書き初め教室、昔の遊び交流会などの体験活動の充実と豊かな心の育成を図っています。本年度は特に、道徳教育の充実とタブレット端末等のICT利活用にも力を入れています。



道徳学習
タブレット端末を活用して意見の集約



動植物検疫紹介教室
麻薬探知犬は見つけることができるかな



成田市立吾妻小学校
(創立 昭和53年)

児童数 760人
学級数 25学級

本校は、成田ニュータウンの西部に位置し、創立45年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも4基の古墳があります。本校の学校教育目標である「みんな仲良く たくましく」は、子どもたちの合言葉になっており、「思いやりのある子 喜んで働く子(徳育)」「自ら学びとる子(知育)」「健康でたくましい子(体育)」を育てるため、元気なあいさつと思いやり、勤労・生産活動、基礎学力の向上、表現・思考力の向上、運動の楽しさを味わえる体育学習や健康で安全な生活習慣の獲得に日々取り組んでいます。また、GIGAスクール構想により導入された環境を活用し、学校内外におけるDX化にも力を入れています。子どもたちの安全を守るスクールガードあづまや吾妻・はなのき台地区青少年健全育成協議会等の地域の方々の活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられた子どもたちが生き生きと活動しています。



タブレット端末を活用し学習する
子ども達



休み時間は先生も子ども達も
仲良く遊んでいます



成田市立玉造小学校
(創立 昭和56年)

児童数 212人
学級数 11学級

玉造小学校の学区は、成田ニュータウン北部の玉造1丁目から4丁目、そして公津地区八代の一部から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。

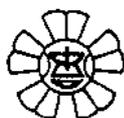
教育目標を「心豊かで、たくましく生きる力を身につけた児童の育成」とし、教育活動の充実に努めています。本年度は「根拠をもとに伝える児童」の育成を目指し、「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」「家庭・地域との連携」を重点目標にすえ、教育活動を進めています。また、算数科を研究教科とし研究を深めていくことで、「考える楽しさを感じ主体的に学習に取り組む児童の育成」を目指しています。さらに、通級指導教室「スマイル」を活用するなど、特別支援教育に力をいれ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を充実させています。ICT教育も推進し、入学式や1年生を迎える会など行事等で、機器を活用した取組も行っています。そのほか、縦割り班活動や縦割り清掃、地域の方にご協力いただき、農業体験学習や昔遊び等を実施し、異学年や地域の方との交流を深めています。



1年生 生活科「昔遊び」
地域の方と一緒にお手玉など昔遊びを行いました。



4年生 読書タイム
ボランティアさんによる読み聞かせです。



成田市立中台小学校
(創立 昭和57年)

児童数 172人
学級数 8学級

本校は、学校教育目標「かしこい子どもの育成」のもと、「勉強する子(知)」「やさしい子(徳)」「元気な子(体)」を掲げ、子どもたちの「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活を目指しています。本校を取り巻く教育的環境は整っており、学校に入るとたくさんの花や緑が迎えてくれます。保護者・地域の関心も高く、PTAや社会福祉協議会と連携を深めています。笑顔と元気なあいさつが交わされ、きちんとした生活態度で授業に集中する児童の姿が見られます。本校は昨年、創立40周年を迎え、多くの記念行事を行い、子どもたちはたくさんの思い出を作ることができました。コロナ禍の中ではありますが、心豊かな児童の育成を目指し、予防対策には万全を期して、教育活動を工夫して行っています。また、ギガスクール構想によって一人一台タブレット端末が整備され、今年度も有効な活用を目指して推進していきます。



感染症予防対策を取り、各学年で楽しく
充実した水泳学習を実施できました。



創立40周年記念の思い出に、
青空に向かって色鮮やかな風船を放ちました。



成田市立神宮寺小学校
(創立 昭和60年)

児童数 150人
学級数 8学級

創立38周年を迎える本校は、成田ニュータウン北部にあり、近くには、成田スカイアクセスの成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりをめざして「神宮寺祭り」「どんど焼き」などの文化活動や、各種スポーツ大会など独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化・リサイクル活動・防犯パトロール活動などのPTA活動も盛んです。また、隣接する成田北高校とは、先生や生徒による「おもしろ実験教室」や各運動部の生徒との綱引き練習など、交流を行っています。さらに、地域の学習ボランティアによる学習会「神小寺子屋」を毎朝開催し、学校支援事業として確立しています。このように学校と家庭、地域の連携が取れている環境の中、「心豊かでたくましく自分を信じてがんばる子」の学校教育目標のもと、「自分も仲間も大切に」そして、「よく学び、よく遊べ、感動いっぱい神宮寺小」を合言葉に、全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。



地域の学習ボランティアによる学習会「神小寺子屋」の様子



成田北高校の先生方や生徒の皆さんによる「おもしろ実験教室」の様子



成田市立平成小学校
(創立 平成2年)

児童数 556人
学級数 21学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道51号線周辺に散在する古くからの街並みと、JR線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き たくましく生きぬく 人づくりをめざして ~知・徳・体の調和~」としました。いつでも夢や希望を抱きながら精一杯全力で頑張る児童の育成に向けて、全教職員が力を合わせて取り組んでいます。「全力でがんばる子」の育成を目指し、一生懸命努力すること、努力し続けて感動を味わわせることを目的に、運動部と合唱部の活動を行っています。また、子どもたちが夢や希望を抱きつつ、健全に成長するために地域で子どもを育て守る体制づくり（「平成小学区ゆめ協議会」本年度12年目）が推進されています。



クボタスピーアーズの方々からタグラグビーを教わっていただき、楽しく活動しました。



社会福祉体験を通し不自由さを感じている方のためにできることを考えました。



成田市立本城小学校
(創立 平成5年)

児童数 424人
学級数 19学級

本校は、本年度創立三十年目を迎えます。本城という地名は、この地を開発して住み着いた人々が、自分たちにとって本当の根城にしようという願いを込めて付けたと言われています。地域の発展とともに、いつの時代も、地域にあたたかく見守られ、育てられてきました。「たくましく心豊かな子どもの育成～夢と希望を笑顔で語る子どもたち～」を学校教育目標に掲げ、子どもたちの夢と希望を叶える学校、満足できる学校を目指しています。これまで行ってきた本校の特色ある教育活動を、継承・発展させながら、家庭、地域社会との関わりを大切に、一人ひとりの良さを伸ばすよう、全教職員が一丸となって、取り組んでいます。本年度は特に、季節感や人の温もりが感じられ、安心して生活できる校内環境をつくるとともに、子どもたちが達成感を感じ、自己肯定感を高めることができる場面を多く取り入れるなど、教育課程のより一層の工夫・改善に努めています。



朝風に泳ぐ鯉のぼりとまきの木
「みんな元気に登校できますように」



まきの子集会～リモート編～
「陸上大会壮行会の勇姿」



成田市立公津の杜小学校
(創立 平成18年)

児童数 741人
学級数 28学級

開校17年目を迎える本校は、学校教育目標である「未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成」を目指して、『希望の登校、満足の下校 ～みんな仲よし、じょうぶに育て～』をスローガンにして教育活動を行っています。

自主と自立・自由と自律を意識し、自分を高める5つの「自」(5自(ファイブジー))の実現を目指し、児童一人ひとりが存在感と有用感を高めています。

タブレットを効果的に活用した授業の実現を目指し、校内研修の充実を図るとともに、読書の習慣化を図ることで言語活動を通して豊かな表現力を身につけ、より良い人間関係が築ける集団づくりと学校生活の充実を目指しています。



学校生活の充実①
6年生修学旅行(山梨方面)



学校生活の充実②
2年生いも苗植え体験



成田市立美郷台小学校
(創立 平成19年)

児童数 333人
学級数 14学級

日本一『幸せ』な学校 ～夢を持ち、夢を語ることができる学校～ を学校教育目標とし、開校16年目を迎えた本年度は、目指す児童像を「自分で考え、自分で行動できる子」とし、「学ぶことをあきらめない子」「人も物も大切にできる子」「よく食べよく遊べる子」の育成を目指し、教育活動に取り組んでいます。また、きれいで広い校舎、開放感のあるグラウンドや中庭に加えて、学校給食共同調理場も併設しております。

5年目を迎える学校支援地域本部事業では、地域コーディネーターの力をお借りし、地元の人的・物的資源の活用を図りながら、「米作り」「さつまいも作り」「車椅子体験」「ミシン学習補助」「書き初め学習補助」など、多くの体験活動を充実させることができています。また、地域の方との交流を通じて、優しさや感謝の心、豊かな人間性も育てています。



地域の方と
田植え体験を行いました。



社会福祉協議会の方と
視覚障害疑似体験を行いました。



成田市立成田中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 516人
学級数 18学級

「豊かな心を持ち、心身ともにたくましく、自らの進路を切り拓く生徒」を学校教育目標に掲げ、『子ども達が夢を持ち、明日も行きたいと思える学校』『挨拶と歌声であふれる元気な学校』をスローガンに全教職員一丸となり教育活動を実践しています。「元気な挨拶」と「さわやかな歌声」が響き渡る活気ある学校づくりに向け、生徒会や委員会が中心となり子ども達の主体的な活動を推進しています。

また、授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために生徒の視点に立った指導方法の工夫改善に取り組んでいます。外国語教育において、「生きた英語力」を身につけさせるため、ALTを積極的に活用したコミュニケーション能力を高める授業づくり、数学科においては、少人数やティーム・ティーチングを取り入れたきめ細かな指導方法の工夫改善に取り組み、子ども達の学力の向上を目指しています。



ICT機器を活用した
学習意欲を高める授業



マラソンの田中智美さんをお迎えした
夢実現講演会



成田市立遠山中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 402人
学級数 16学級

本校は、成田国際空港に最も近く、豊かな文化と長い歴史を有した中学校です。「目指す未来の実現に向けて、何事にも粘り強く取り組む生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、「思いを大切にすること」「計画を立てて粘り強く取り組むこと」「組織の強みを生かすこと」を三つの柱として、様々な教育活動を展開しています。特に、生徒の自治的活動の推進に重点を置き、学校行事では企画・運営に生徒が参画することにより、成就感や感動する心を育むことを目指しています。

学習指導については、ICT機器を積極的に活用した授業を推進しています。また、外国籍生徒への日本語指導など、生徒の実態に応じた個別支援を充実させることにより、生徒の基礎学力の向上を目指しています。

本校の学区は広域で9割以上の生徒が自転車通学をしているため、本校の生徒が学区内の小学校に出向き自転車の乗り方教室を行うなど、小中学校が連携しての交通安全教育にも力を入れています。



本校生徒が小学校に出向き、
自転車安全教室を実施しています。



本校の卒業生、並木月海先輩の銅メダル
獲得を全校生徒でお祝いました。



成田市立久住中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 181人
学級数 8学級

本校の学区は、成田市の中央に位置し、学区内にJR久住駅があります。近年、久住中央地区の宅地開発に伴い生徒数が増加しており、本年度は全校生徒が181人となりました。今後も生徒が増える見込みです。平成23年度の学区小学校の統合によって一小一中学区となり、小中連携教育の推進に努めています。平成29年度には校舎増築棟が完成し、最新の設備と恵まれた自然環境のなかで子どもたちは学校生活を送っています。純朴で素直な生徒が多く、身体を動かすことが好きであり、学校行事や諸活動に積極的に取り組んでいます。学校教育目標の「一人ひとりの学びを大切に生きる力を育成する ～安全と健康を最優先とした教育活動を通して～」のもと、明るく活気に満ちた学校づくり、暮らすみんなが安心して学べる学校づくりを推進しています。



花苗の植え替え作業



授業の様子 (保健体育)



成田市立西中学校
(創立 昭和39年)

生徒数 441人
学級数 16学級

本校は令和4年度から『前へ』『挑戦っていいな』を学校目標に掲げ、挑戦することで何よりも毎日が楽しくなることを目指して頑張っています。新型コロナウイルス感染防止のために教育活動に様々な制約があった2年間でした。しかし、本校としては昨年度から全国的に始まったタブレット端末を活用した授業について積極的に研究を行い、多くの新しい実践を行っています。その中の一つとして、天井から日が差し開放的な多目的室を「クリエイティブ・ラボ」創造的実験室と名付けてユニークな形のデスク・チェア、電子黒板を導入してアクティブ・ラーニングやグループワークの活動場所として活用しています。生徒はディスカッション中に違う班に行くこともでき、意見を見たり、聞いたり、大きなホワイトボードに書き込んだり、生き活きとした授業が展開されています。自ら考え行動する空間の中で、深い考えや、素晴らしい意見が多く出るようになりました。これからも、この教室での学習を通して、学びのレベルが向上し、様々なことに挑戦し、前へ進み続ける西中生が育ってくれることを期待したいです。



クリエイティブ・ラボを使用した授業
活発な意見交換の様子



クリエイティブ・ラボを使用した授業
ホワイトボードに意見をまとめている様子



成田市立中台中学校
(創立 昭和48年)

生徒数 223人
学級数 10学級

本年50周年を迎えた本校は、成田空港の開港に伴う整備事業の一環として、新住宅地開発に基づいて造成された成田ニュータウン内にあります。学区は、加良部、中台、米野地区からなっていましたが、公津の杜中の新設にともない学区が再編され、加良部1丁目、中台、米野地区が学区となりました。学校目標である「自ら学び、豊かな心もち、たくましく生きる生徒の育成」を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。生徒は、学習に意欲的に取り組み、GIGAスクール構想により導入されたタブレット端末の活用にも積極的です。また、体育祭や合唱コンクールなどの行事等にも大変意欲的に取り組んでいます。地域のボランティア活動への興味も高く、福祉教育の研究指定校(H25～H27)を機に、地域での挨拶運動、エコキャップ回収活動、クリーン作戦、敬老会、歳末助け合い街頭募金活動など地域に密着した活動に参加し、保護者、地域とともに郷土愛にあふれた生徒たちを育てています。



キャリア教育講演会
人工筋肉を装着した生徒



歳末助け合い街頭募金
募金活動をする生徒



成田市立吾妻中学校
(創立 昭和53年)

生徒数 504人
学級数 18学級

成田ニュータウンの西に位置する本校は、橋賀台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部を学区とし、春には校地を取り囲む数十本の八重桜が美しい花を咲かせる素晴らしい環境に恵まれています。はなのき台地区の開発に伴い生徒数が急増しており、本年度はこれまでの最大規模となる504名の在籍数となりました。

学校教育目標として「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身に付けた生徒の育成」を掲げ、知・徳・体の調和のとれた「人間性豊かな生徒の育成」を目指し、社会変化や本校の課題に即時対応できるように、教職員の資質・能力の向上を目指し、研究と修養に努めております。

特色ある学校作りとしての取組は、国際性や実践的なコミュニケーション能力の基礎を身に付けた生徒を育成するために、独自の教育課程を編成し、英語授業の充実を図っております。



体育館での開催となった
合唱コンクール



映像を用い実施した
対面式



成田市立玉造中学校
(創立 昭和60年)

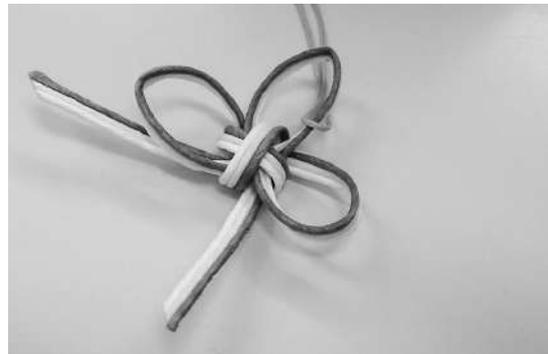
生徒数 266人
学級数 11学級

本校は成田ニュータウンの北端にあり、玉造地区(1～7丁目)、八生地区の上福田・大竹・松崎及び公津地区の八代から学区が成り立っています。入学してくる生徒は、玉造小・神宮寺小・八生小の3校で9割以上を占め、本年度は合計266名で日々の学校生活を送っています。

平成27年5月に生徒総会で議決した、「挨拶・返事」、「学習」、「合唱活動」、「無言清掃」、「団結力」の「当たり前5項目」を当たり前できるように、日々取り組んでいます。一昨年来、コロナ禍の中で「新しい学校生活様式」の構築に向けて、前進しています。目指す生徒像「誰かの役に立つ行い」の実現に向け、3年度末の予餞会では、前年度以上に工夫を凝らし1年生が動画配信を、2年生の演技を3年生に生配信する形で行いました。本年度の入学式は2年ぶりに在校生全員で迎えました。制限がある中での活動ですが、今後も創意工夫を持って、教育活動にあたっていきます。



県内中学校、唯一のユネスコスクールとして
3年生SDGs学習発表会



生徒会全体で取り組んだシトラスリボン
(制作は特別支援学級生徒)



成田市立公津の杜中学校
(創立 平成25年)

生徒数 645人
学級数 22学級

本校は、平成25年に生徒数497人で開校し、節目の10年目を迎えました。生徒数は年々増加し、本年度は645人と、市内で最も大きな規模の中学校となっています。保護者をはじめとする地域の方々の温かな支援のもとで、生徒たちはのびのびと学習しています。

学校教育目標は、「未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成」です。《生徒も保護者も職員も「公津の杜中でよかった!」と思える学校を目指し、学習や自治的活動、家庭・地域との連携による健全育成に取り組んでいます。特に生徒会活動では、日頃から自分の役割を自覚し、互いに協力し合う姿が見られます。本年度も入学式の進行を生徒が務めました。昨年度は、学校給食優良表彰を文部科学省からいただくなど、安全でおいしい給食も本校の自慢の一つです。生徒の健やかな成長のため、コロナ禍でも何ができるかを考え、タブレット端末などのICT機器を活用しながら、教育活動を展開していきます。



本校自慢の給食



着付け体験教室 (1学年)



成田市立下総みどり学園
(創立 平成29年)

児童生徒数 383人
学級数 21学級

本校は、平成29年に施設一体型の義務教育学校としてスタートし6年目を迎えました。「地域とともに夢と希望に向かってたくましく生きる下総っ子」を学校教育目標として、義務教育9年間を通した指導方針のもと、一人ひとりの子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう連続した学びを実践しています。そのために、9年間で前期(1~4学年)、中期(5~7学年)、後期(8・9学年)の3つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っています。様々な異学年交流活動は、本校の特色の一つですが、現在は感染症予防と教育活動の充実の両立を考えながら取り組んでいます。また、円滑な人間関係を築くことを目指しながら、地域の高校をはじめ地域とも積極的に連携し児童生徒の育成に努めています。



下総高校との連携



縦割り班清掃



成田市立大栄みらい学園
(創立 令和3年)

児童生徒数 572人
学級数 28学級

本校は、大栄地区の5つの小学校と1つの中学校（大須賀小・桜田小・前林小・津富浦小・川上小・大栄中）が統合し、令和3年度、新たに義務教育学校として開校しました。小学校・中学校の垣根（壁、区分、柵）をなくし、9か年を通してふるさと大栄を愛し、郷土として誇れる「大栄っ子」を地域とともに育てることを基本理念とし、「未来を切り拓き 社会で活躍できる 人間性豊かな人材の育成～自主自立 未来創造 郷土愛～」を教育目標に、令和3年6月より新校舎での生活をスタートさせました。12月には、校歌も制定されました。

義務教育学校としての特色を生かし、全校を24の縦割り班に編制し、清掃活動や学校行事に取り組んでいます。教職員も小中それぞれで培った文化を融合させ、新たな学校づくりを児童生徒とともに推し進めています。



全校遠足
縦割り班を生かした徒歩遠足



かけ算九九練習
8年生が2年生の先生役

成田市立大栄幼稚園
(創立 平成8年)

園児数 67人
学級数 3学級

本園は、成田市東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を望む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園や大栄B&G海洋センター、ナスパ・スタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱい活動しています。また、園周辺の地域を利用し、緑豊かな自然との触れ合いを大切にした保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分で子ども・友達となかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成を目指しています。

本年度は、23名の新入園児を迎え3クラス67名でスタートしました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。



近隣のナスパスタジアムに行き
芝生の上で運動遊び☆



廃材を使い、集中して
制作に取り組んでいます♪

5 学校給食センター

学校給食センターでは、学校給食を教育活動の一環として提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場、公津の杜小学校学校給食共同調理場、美郷台小学校学校給食共同調理場、平成小学校学校給食共同調理場で給食を調理しています。

(1) 食に関する指導の充実

食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせ、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育むため、給食時間等の指導のほか、食に関する授業を行っています。

また、家庭教育学級や給食だよりなどを通じて情報提供を行うことにより、家庭における食育を促しています。



栄養教諭による食に関する指導

(2) 献立の充実

ア 学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう努めています。

また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で提供できるように、十分な配慮を行います。

イ 献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるような食品の組み合わせや調理方法の工夫に努めます。

ウ 学校給食の献立作成にあたっては、食材の種類を幅広く求め、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。

エ 成田産食材の使用として、主食となる米飯は全て成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

(3) 衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、衛生管理体制を確立し、原材料及び調理後の食品の温度管理の徹底や二次汚染防止等に努めています。

また、職員の健康管理等を行うとともに、保健所の指導、助言を受けつつ、調理作業、衛生管理に努めています。

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

区 分	基 準 値			
	児童(6歳～7歳)の場合	児童(8歳～9歳)の場合	児童(10歳～11歳)の場合	生徒(12歳～14歳)の場合
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食における摂取エネルギー全体の13%から20%			
脂質 (%)	学校給食における摂取エネルギー全体の20%から30%			
ナトリウム (食塩相当量) (g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム (mg)	290	350	360	450
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μ gRAE)	160	200	240	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

- 1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについても示した摂取について配慮すること。
亜鉛……児童(6歳～7歳) 2mg、児童(8歳～9歳) 2mg、
児童(10歳～11歳) 2mg、生徒(12歳～14歳) 3mg
- 2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。
- 3 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

(4) 地域との連携

本市の給食についての考え方や取組を伝え、実際に味わっていただくことで、給食の良さを広く市民に伝えることを目的とした「なりたの五つ星給食レストラン」を開催しています。

(5) 給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成21年度に施設整備基本計画を、平成22年度に施設整備実施計画を策定しました。その後、平成26年度に実施計画を見直しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び食育の推進が可能となる親子方式(※)による施設の整備を進めています。なお、令和2年度か



平成小学校学校給食共同調理場

ら整備を進めてきました親子方式による5番目の施設となる平成小学校学校給食共同調理場が令和4年3月に工事が完了し、令和4年度の2学期から完全給食を提供します。

また、学校給食センター本所につきましては、愛光園跡地へ移転・再整備することとして、本年度から実施設計等を行っていきます。

※敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式

(6) 第3子以降の学校給食費無料化

令和4年4月から多子世帯における子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、22歳以下である子を3人以上扶養し、かつ、就学させている保護者を対象として、一定の要件を満たす場合に、成田市立の小中義務教育学校に通う第3子以降の学校給食費を無料としています。

生涯学習

1 施策の概要

市民が生涯の各期において自己啓発を続け、主体的にかつ豊かに生き、お互いの連帯感を高めていく地域社会づくりを目指し、各種教育機関・組織・団体との幅広い連携のもとに、市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支援します。

(1) 生涯学習の推進

① 生涯学習推進協議会

生涯学習推進協議会は、生涯学習に関する諸施策について、広く市民の意見及び要望を取り入れ、効果的な展開を図るため設置しています。

② 社会教育委員会

社会教育委員の職務には、青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（社会教育）に関する計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見陳述、その他の調査研究などがあります。

③ 成田市まなび&ボランティアサイト (<http://www.genki365.com/narita/>)

インターネット上で市民の様々な活動・活動運営を支援するシステムです。コミュニティ活動、地域活動、福祉、子育て、学習、講座など、市内で行われる活動に関して、イベントやまなび機会、ボランティア募集、各種団体、各種人材など、様々な情報を行政から提供するばかりでなく、参加団体等からも情報が発信できるなど、交流窓口にもなるサイトです。



まなび&ボランティアサイトトップページ

○このサイトでできること

〔何かの活動に参加したい市民は〕

- ・ イベント、ボランティア募集、各種団体の活動等の情報検索、閲覧

〔既に何らかの活動をしている市民は〕

- ・ イベント等の指導者や講師の検索、閲覧
- ・ 団体の基本情報として活動内容、活動日、会員募集、連絡先等を掲載
- ・ 団体の開催するイベント等のボランティア等の支援者募集や参加者の募集を掲載
- ・ 団体の活動の状況を広く知ってもらうため活動報告や活動写真等を掲載
- ・ 人材情報として自分が活動できる特技（指導内容・ボランティア内容、活動可能日、連絡先など）の掲載

○登録されている情報について

- ・ 個人情報保護の観点から、個人情報に関する部分については特に本人の同意をいただき公開します。
- ・ 掲載されている各種情報は、希望する人材や団体からの申し込みにより登録されており、指

導能力、ボランティア能力、公共性、公益性、情報の正しさ等を公的に保証するものではありません。

(2) 家庭教育の充実

① 子育て学習講座・思春期子育て講座

各小学校及び義務教育学校で行う就学時健康診断等の機会に、「子育て学習講座」を開設します。子どもの発達段階に合わせ、家庭教育に対する関心を高めたり、親同士の親睦を深めたりしながら家庭教育の充実を目指しています。また各中学校では入学説明会等の機会に「思春期子育て講座」を開設し、多感な時期の子どもたちへの支援の方法を学びます。



家庭教育の充実

(3) 成人教育の充実

① 生涯学習講演会

市民が誰でも参加できる学習機会として、生涯学習講演会を開催します。

② 高等学校等開放講座

学校が持つ優れた人材と施設・設備を地域に開放し、市民に対し生活上、職業上必要な知識と技術及び一般教養に関する学習機会を提供することを目的に開催しており、多様化・専門化する市民の学習ニーズに応えています。



生涯学習講演会

(4) 青少年教育の充実

① 青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策の適切な実施を図るため、関係行政機関と連絡調整を行うとともに、目的達成に必要な事項を調査審議しています。

② 青少年健全育成事業

青少年育成団体の活動に助成・支援を行うことにより、地域における青少年活動を活発にし、青少年の健全な育成を図ります。

ア 青少年育成市民会議

市内15地区の青少年健全育成協議会を統括して、青少年問題に関する共通理解を深め、地域における関係機関・団体が連絡調整を図りながら、効果的な青少年の健全育成を推進するための事業を開催するとともに、市内関係団体への支援を行っています。

○青少年音楽祭

イ 青少年相談員連絡協議会

青少年活動の促進を図るとともに、社会環境の浄化、青少年の体位体力の向上と健全な家庭づくりを推進し、青少年の非行防止のために率先してボランティア活動を行うことを目的に各種事業を推進しています。

- オールナイトハイク（中学生及び義務教育学校7～9年生対象）
- 青少年交流綱引き大会（小学生及び義務教育学校4～6年生対象）

ウ 成田市子ども会連絡会

市内各子ども会の自主性を尊重しつつ、その健全な発展を図ることを目的に活動を行っています。

- 親子体験事業（年3回）

③ ジュニアリーダー養成

次代を担う青少年のリーダーをさまざまな「体験」を通して養成します。

- ジュニアリーダー養成研修会

④ 青少年劇場

青少年の情操教育の一環として、良質な芸術文化鑑賞の機会を提供し、青少年の資質の向上を図ることを目的に開催しています。小学生・一般向けには劇場での公演を、中学生向けには巡回公演を行っています。

⑤ 成人式

二十歳の節目を祝う行事を開催します。



成人式実行委員会



成人式の様子

⑥ 成田わくわくひろば（子どもの居場所づくり推進事業）

体験活動や異年齢交流活動等を通じて、子どもたちの生きる力や豊かな心を育むことを目的に、地域の青少年健全育成団体、関係者が主体的に企画、実施する事業です。

本年度は9地区が実施し、地区ごとに地域の実情に応じた多彩な魅力あるプログラムに取り組みます。また、地区の交流を目的に合同事業を実施します。

(5) 社会教育関係団体活動の支援

地域社会の活性化と地域の教育力の向上を図るため、市民自身が自主的に学習活動を実践し、その成果を地域に還元していくことは、地域づくりに重要な役割を果たしています。

そこで、社会教育関係団体の育成と充実を図り、市民生活に密着した地域活動の推進に努めています。

(主な支援団体)

- 成田市 P T A 連絡協議会 ○成田ユネスコ協会 ○成田市文化財保護協会
- 伊能歌舞伎保存会

(6) 文化財の保護

① 文化財保護事業

市内に所在する文化財のうち、重要なものを指定等文化財（国指定、国登録、県指定、市指定）として保護・保存に努めるとともに、無形民俗文化財については、後継者の育成を図るよう管理団体との連携を推進しています。

国指定重要文化財の南羽鳥中岫 1 遺跡土坑から出土した人頭形土製品や市指定文化財の南羽鳥正福寺遺跡 1 号墳出土のムササビ形埴輪などは、下総歴史民俗資料館で展示を行い、広く文化財の啓発にも努めています。

埋蔵文化財については、収蔵管理の充実を図るほか、土器等の補修・修復を行うとともに、開発行為等に係る保護に努めています。

② 文化財啓発事業

市内及び県内の様々な文化財に関する理解を深めるために、各種事業を実施しています。

- 歴史講演会 ○博物館めぐり ○史跡めぐり ○各種出版事業



歴史講演会



登録有形文化財 川豊本店店舗

また、平成28年4月に千葉県、佐倉市、成田市、香取市、銚子市が共同で日本遺産「北総四都市江戸紀行～江戸を感じる北総の町並み」として認定され、令和3年度は校外学習で4市を訪れてもらえるよう県内の学校を中心にPR活動を行いました。

今後は、さらに情報発信や普及啓発等の事業に努めてまいります。

③ 文化財保存展示施設整備事業

市内に分散して収蔵してある埋蔵文化財資料等を、下総地区の閉校した小学校を収蔵施設として利活用するため整備を行います。旧滑河小学校は、会合等に利用できる多目的室の他、閉校した小学校ゆかりの品々、旧下総町に関連する資料を紹介する展示室を設け、令和4年4月に滑河文化財保存展示施設として開館しました。

④ 三里塚御料牧場記念館

日本の畜産振興に輝かしい実績を残した旧宮内庁御料牧場の在りし日の姿を再現し、佐倉七牧や牧場の歴史的遺産を継承・啓発するための記念館です。

記念館の管理運営を適切に行うとともに、関係資料の管理・保管にも努めています。

⑤ 下総歴史民俗資料館

市内の歴史資料や民俗資料を展示しています。ナウマンゾウの頭骨化石をはじめとする様々な歴史資料や農具を中心とした民俗資料など、有史以前から現代に至る北総地区の生活のあゆみがわかる資料館です。



三里塚御料牧場記念館



下総歴史民俗資料館



滑河文化財保存展示施設

(7) 令和4年度 生涯学習課事業計画

事業名や実施団体等		開催時期等
青少年教育の充実	青少年育成市民会議	・青少年音楽祭 10月18日
	青少年相談員 連絡協議会	・オールナイトハイク 7月22日～23日 ※ ・成田市青少年交流綱引き大会 2月12日
	子ども会連絡会	・第1回親子体験事業（地引き綱） 7月9日 ※ ・第2回親子体験事業（成田空港エンジン整備工場・航空科学博物館見学） 11月13日 ・第3回親子体験事業
	リーダー養成	ジュニアリーダー 養成事業 ・ジュニアリーダー養成研修会 6月19日
	文化芸術活動	青少年劇場 ・小学生・一般向け公演 2月25日～26日 ・中学生向け公演 11月中
	社会参加	成人式 ・令和5年成田市成人式 1月8日 当該年度に二十歳となる成人式対象者で組織した成人式実行委員会で企画・運営 成田わくわくひろば （子どもの居場所づくり推進事業） ・地区事業 ・合同事業 10月15日 キャンプや異年齢集団の交流など、市内地区運営委員会による子どもの体験学習や居場所づくりの推進
学習機会の充実	家庭教育学級	各小中義務教育学校、幼稚園、保育園で開催
	子育て学習講座 思春期子育て講座	就学時健康診断や入学説明会時に各学校で開催
	放課後子ども教室	遠山小学校・豊住小学校・八生小学校・公津小学校・加良部小学校・中台小学校・公津の杜小学校・美郷台小学校・下総みどり学園で開催予定
	学校支援地域本部	成田小学校・遠山小学校・久住小学校・八生小学校・公津小学校・向台小学校・玉造小学校・中台小学校・神宮寺小学校・平成小学校・本城小学校・美郷台小学校・成田中学校・久住中学校・吾妻中学校・玉造中学校

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

事業名や実施団体等		開催時期等
学習機会の充実	成人教育	<p>【県立成田国際高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級英語講座 8月27日～9月24日 全5回 ・中級英語講座 8月27日～9月24日 全5回 <p>【私立成田高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩鑑賞と思想研究 9月17日～10月22日 全5回 ・初心者パソコン講座 9月17日～10月22日 全5回 <p>【成田国際福祉専門学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級簿記 1月14日～2月18日 全6回 ・家庭でできる介護と高齢者の食事の作り方 8月3日～7日 全5回
		<p>明治大学・成田社会人大学</p> <p>6月11日～11月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会課程 揺らぐ世界秩序を地政学・地経学から考える ・ライフマネジメント課程 ライフスタイルマネジメント～健康な生活から資産の運用まで～
		<p>生涯学習講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 8月6日 第2回 2月4日
	高齢者教育	<p>生涯大学院</p> <p>5月10日～3月11日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養講座 成田の歴史、健康、環境問題等の一般教養（各学年 年間20回程度） ・専門講座 書道、園芸、陶芸、油絵、音楽、体操（選択制 年間15回）
地域社会教育活動の充実	団体活動の支援	<p>PTA連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 5月7日 ・市PTAバレーボール大会 6月18日 ・運営研修会 家庭教育・地域教育力向上講演会 7月2日 ・防災研修会 9月6日 ・視察研修 10月28日
	成田ユネスコ協会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 5月20日 ・国際交流事業「日本の香りをあなたに」毎月第3火曜日 ※ ・「気になる雲写真展」 11月12日～18日 ・世界寺子屋運動・世界遺産活動
文化財保護	文化財啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡めぐり、博物館めぐり、歴史講演会 ※ ・下総歴史民俗資料館企画展

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2 公民館

(1) 魅力ある公民館活動の推進

公民館は、生涯学習の身近な拠点として市民が組織的に行う自主的な学びを尊重・奨励・援助するとともに、多様化する地域課題を解決するために各種主催事業を実施し、地域住民の教養文化の向上、仲間づくりの場の提供などを図ることで、公民館の目的である、人づくり・つながりづくり・地域づくりの実現に努めます。

(2) サークルの育成・活用の推進

公民館を生涯学習の場として、多くのサークルが継続的に利用しています。従来のサークルは、公民館主催の講座や教室から生まれたものが主流でしたが、近年では、共通の趣味や関心・興味を持つ人同士が集まり自主的な学習サークルを結成し、活動するものが多くなっています。こうしたサークルの学習活動を支援するとともに、サークルの育成や社会貢献活動を推進しています。(令和4年4月1日現在で494団体)

(3) 公民館ボランティア推進事業

公民館では、地域住民に学習の場を提供するだけでなく、サークル会員が公民館サークル等の活動で培った技術や知識を活用し、公民館主催講座等でボランティア講師として活躍していただけるよう、サークル主導型の事業を推進しています。

(4) こども体験学習セミナー

子どもたちの生活体験や自然体験など様々な体験活動や仲間づくりを支援するため「こども体験学習セミナー事業」を実施しています。

高学年の部では、子どもたちが自分達で企画・実施する体験活動を通じて「自ら学び・自ら考える力」の育成を図ることを目的とした「なりた冒険塾」を全7回に渡り開催しています。

また、低学年の部では親子のふれあいを深める機会として保護者も参加し、自然体験学習「ネイチャーゲーム」や料理教室、工場見学など親子で様々なことを体験するプログラムを開催しています。



こども体験学習セミナー（なりた冒険塾）

(5) 広報活動の充実

公民館活動を活発にするため、市の広報誌をはじめ、公民館だよりや各種事業のチラシ、ポスターを作成するとともに、市のホームページ及び「まなび&ボランティアサイト」を活用するなど、年間をとおして広報活動の充実を図ります。

(6) 令和4年度 公民館主催教室・講座計画

No.	事業名	会場	開催時期	回数	定員	対象
1	外国人のための日本語教室（4クラス）	中央	未定	—	—	外国人
2	親子たけのこ掘りと竹細工教室	八生	4月	1	8組	小学生と保護者
3	初心者のための英会話教室	中央	5月～6月	6	18人	一般
4	子どもおはやし教室	玉造	5月～6月	4	10人	小学生
5	日本語ボランティアスタッフ養成講座	中央	5月～7月	6	15人	一般
6	植木剪定教室	遠山	6月	2	20人	一般
7	えびがに釣り教室	公津	6月	1	12組	小学生と保護者
8	ベビーマッサージ教室	中郷	6月～7月	3	10組	生後3か月～8か月の子と親
9	なりた冒険塾	中央	6月～12月	7	18人	小学校高学年（4年～6年）
10	親子体験学習セミナー	中央	6月～12月	6	15組	小学校低学年（1年～3年）と保護者
11	なりた郷土史セミナー	中央	7月～11月	5	18人	一般
12	夏休み親子ちょきん箱工作教室	久住	7月	1	15組	小学生と保護者
※	13 空港わくわく探検隊	中央	7月	1	15組	小学生と保護者
	14 夏休み阿波おどり教室	中央	7月	1	15人	小学生
	15 夏休みこども絵画教室	橋賀台	7月～8月	4	18人	小学生
	16 夏休みこども日本語教室	中央	7月～8月	4	18人	外国人の小中学生
※	17 夏休み親子科学実験教室	中央	8月	1	30組	小学生と保護者
	18 夏休み親子歩行ロボット工作教室	下総	8月	2	25組	小学生と保護者
※	19 夏休み親子そば打ち教室	成田	8月	1	10組	小学生と保護者
	20 パン作り教室	遠山	9月	2	12人	一般
	21 ファミリーコンサートin玉造（第30回玉造音楽祭）	玉造	9月	1	—	一般
	22 セカンドキャリアデザイン講座	中央	9月～2月	6	20人	55歳以上の方
	23 うたおう！あそぼう！わらべうた講座	中央	9月～10月	3	15組	未就学児と保護者
	24 にこにこ親子広場	中央	7月～8月	6	20組	未就学児と保護者
	25 子育て世代のためのリフレッシュヨガ体験	中央	10月	2	15人	子を持つ保護者
	26 ニュータウン地区歴史散歩	玉造	11月	1	20人	一般
	27 大栄ふるさと文化まつり	大栄	11月	1	—	一般
	28 就学前子育てふれあいゼミナール	中央	12月～1月	3	15組	未就学児と保護者
	29 表装教室	豊住	11月	6	15人	一般
	30 英語であそぼ！	玉造	11月	3	12組	未就学児と保護者
	31 トレッキング教室	中央	11月～12月	3	20人	一般
	32 思春期子育てふれあいゼミナール	中央	2月～3月	3	15人	一般
	33 日本語ボランティアブラッシュアップ研修	中央	11月～1月	3	20人	日本語ボランティア登録者
	34 ナイトヨガ入門教室	中央	12月	4	20人	18歳以上の女性
	35 クリスマスリース作り教室	加良部	12月	1	15人	一般
	36 こども生け花体験教室	八生	12月	1	25人	小学生
	37 正月用生け花教室	大栄	12月	1	20人	一般
	38 小中学生書き初め教室	中央	12月	1	20人	小中学生
	39 シニア向けスマートフォン教室	中央	1月	3	20人	高齢者
	40 シニアライフいきいき講座	豊住	1月～2月	3	20人	高齢者
	41 健康のためのバレエストレッチ教室	玉造	1月～2月	6	15人	18歳以上の女性
	42 なりた環境セミナー	中央	1月～2月	3	20人	一般
	43 下総サークル発表会	下総	2月	1	—	一般
	44 水墨画教室	公津	2月～3月	5	18人	一般
	45 なりた郷土史講演会	中央	2月～3月	2	30人	一般
	46 予防医療セミナー	中央	3月	3	30人	一般
	47 成田地区歴史散歩	成田	3月	1	20人	一般
	48 大栄サークル発表会	大栄	3月	1	—	一般
	49 公津しだれ桜ふれあいまつり	公津	3月	1	—	一般

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（令和4年9月時点）

(7) 令和3年度 公民館利用状況

単位：人

公民館名	開館日数	主催事業	行政関係	サークル関係	その他団体	その他利用	図書	合計
中央公民館	330	1,074	3,372	38,066	5,232	3,626	-	51,370
公津公民館	294	52	1,752	6,703	382	0	796	9,685
久住公民館		0	375	1,803	498	0	1,285	3,961
橋賀台公民館		81	14	5,378	343	1	980	6,797
玉造公民館		138	718	8,497	1,506	0	3,197	14,056
豊住公民館		0	170	1,667	107	0	315	2,259
成田公民館		0	50	2,981	123	1	6,766	9,921
八生公民館		150	668	4,577	385	0	417	6,197
中郷公民館		0	103	4,284	37	0	352	4,776
加良部公民館		17	51	6,201	1,343	2	580	8,194
遠山公民館		62	479	3,866	335	0	396	5,138
下総公民館		130	1,221	7,495	1,223	45	1,954	12,068
大栄公民館		60	1,313	5,538	1,062	277	2,273	10,523
合計		-	1,764	10,286	97,056	12,576	3,952	19,311

※主催事業には主催者・講師等が含まれる。

3 図 書 館

本館を中心に、公津の杜分館と14か所の公民館図書室等により、市内全域に図書館サービスを提供しています。

社会の変化に伴い、公共図書館に求められる機能にも変化が生じ、読書支援だけでなく、地域や市民の課題解決を支援する機能の充実が求められてきていることから、これらの情報提供サービスを図書館が実施するサービスとして位置付けると共に、これからの図書館の在り方を検討し、新たな運営方針を定め、目指すべき図書館の姿を実現するため「成田市立図書館サービス計画」(計画期間：令和3年度から令和12年度まで)を策定しました。

本年度もこのサービス計画に基づき、各種事業を実施し、市民にとって魅力ある図書館を目指していきます。

(1) 図書館サービスの充実

① 利用者の利便性の向上

図書等の自動貸出機の設置やJR成田駅への返却ポストの設置、インターネットコーナーの座席予約管理システムを導入するなど、利用者の利便性の向上を図っています。また、本館には予約受取コーナーを設け、公津の杜分館には自動返却仕分機を設置するなど、手続きの簡素化や効率化を図っています。さらに、資料の予約や貸出期限の延長をインターネットで申し込むサービスも提供しています。令和3年8月からは、電子書籍を貸し出すサービスを開始しました。また、9月末からは議会図書室と連携し、議員へのレファレンスサービスを開始しました。

② 情報提供機能の充実

地域を支える情報拠点として、市民の生活、文化、生涯学習、レクリエーションなど、各分野の課題解決を支援するための情報提供機能の充実と、積極的な情報発信を図っていきます。

本館及び公津の杜分館にはインターネットコーナーを設置し、本館の参考資料室では、外部のオンラインデータベースや国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスが利用できる環境を整えています。

また、図書館ホームページには、時事問題やその時々キーワードから簡単に関連資料が検索できる「クイックサーチ」を提供するとともに、様々な調査依頼に対して的確かつ迅速に処理するために、過去のレファレンス事例のデータベース化にも努めています。



図書館講座

③ 資料の収集・整理

資料の収集・整理・除籍を積極的に行い、魅力ある蔵書構成の維持に努めています。除籍した資料は、リサイクルコーナーやイベント会場などで、利用者等へ無料で配布し有効活用しています。

④ 各種講座の開催

幅広い利用者層からなる市民のニーズや地域の課題に沿った講座を開催し、市民の興味関心に応えます。

(2) 子どもの読書活動の推進

① 図書館でのおはなし会

本館では、毎週土曜日に幼児から小学生向けにおはなし会を開催しています。絵本の読み聞かせ中心の会のほか、毎月第3土曜日は、おはなし（語り）を中心にしたプログラムで行います。昔話などのおはなし（語り）では、絵本と違い、絵のイメージにしばられることなく耳から聞いたおはなしの世界を自由に想像し、楽しむことができます。語りを聞く経験は、「言葉」による想像力を育み、読書へとつなぐ架け橋の役目も果たしてくれます。

また、乳幼児期から読書に親しむ機会を提供し、読み聞かせなどによる子どもへの働きかけの重要性を保護者に理解してもらうために、「えほんとおそぼうー0・1歳のおはなしかい」及び「えほんとおそぼうー2・3歳のおはなしかい」を開催し、絵本の読み聞かせ、わらべうたあそび、絵本の紹介などを行っています。

「はるやすみ おはなしかい」及び「なつやすみ おはなしかい」は、司書とおはなしボランティアグループの共催で行い、おはなしや絵本だけでなく、小道具を使った楽しいプログラムを取り入れ、たくさん子どもたちに読書への誘導を図っています。

公津の杜分館においても、月2回の定例のおはなし会のほか、「杜のなつやすみおはなしかい」及び「杜のふゆのおはなしかい」を開催し、本にふれる機会を広げています。

② 学校訪問おはなし会

多くの子どもたちに直接働きかける取組として、ボランティアの協力を受け、小学校及び義務教育学校（前期課程）を訪問して「おはなし会」を行っています。おはなしや絵本の読み聞かせ、わらべうたなどの手遊びを通じて、豊かな感受性を育みながら読書に対する関心を持たせるよう働きかけ、本の紹介や、市立図書館、学校図書室のPRも行い、子どもの読書活動の推進に努めています。

③ ボランティアとの連携・支援

おはなし会等の事業を重点的に行うため、ボランティアと協力して勉強会や講座の開催に努め、研修事業なども行っています。また、小学校などで読み聞かせをするボランティアを支援するために、初心者向けの「絵本の読み聞かせ講座」を開催しています。

④ 学校図書館との連携

学校図書館司書との合同研修を実施しています。また、調べ学習に必要な資料など、学校図書館の蔵書では対応できない資料を貸し出し、学校図書館の活動を支援しています。

⑤ 赤ちゃん相談絵本読み聞かせ

保健福祉館で実施する「赤ちゃん相談」において、赤ちゃん絵本の読み聞かせを実施しています。単なる読書推進や啓発ではなく、子育て支援という観点から、絵本やわらべうた等を通じて、保護者と乳幼児が良好な関係を結ぶサポートに努めています。

(3) 公津の杜分館・公民館図書室等によるサービス

本館を中心に、公津の杜分館、公民館図書室等をサービスポイントとして市内全域にサービス網を構成し、巡回車で資料を配送しています。また、全館をオンラインで結び、迅速なサービスの提供に努めています。平成25年に開館した公津の杜分館は、もりんぴあこうづ（公津の杜コミュニ

ティセンター)内にあり、蔵書約11万冊を備える大型分館です。子どもと子育て世代へのサービスに重点を置くとともに、高齢者にも配慮したくつろぎ空間のある閲覧スペースを設け、滞在型の利用にも対応できるようにしています。

(4) 障がい者サービス

身体上の理由で図書館の利用が困難な方々に対し、資料の宅配や録音図書の貸出しを行っています。また、大活字本や拡大読書器、音声読書器による読書支援や音訳協力者養成講座を実施しています。

(5) 令和4年度 図書館事業計画

事業名	開催時期等	内容
図書館講座	通年	7月に児童講座(科学あそび)、「夫が脳で倒れたらー社会復帰の記録ー」、10月に「西洋絵画入門!名画を読み解くアトリビュートの世界」「中世北総の荘園・公領(国衙領)と人々の営みー印東庄・植生庄大須賀保・遠山方御厨を中心にー」、11月に「法律を味方に!トラブル予防・対策のポイント」を開催予定。
定例会 おはなし会	通年	えほんのおはなしかい:4歳~小学生対象 おはなしかい:5歳~小学生対象 0・1歳のおはなしかい:0・1歳児とその保護者対象 2・3歳のおはなしかい:2・3歳児とその保護者対象
季節の おはなし会	各1回	はるやすみ おはなしかい:3歳~小学生とその保護者対象 なつやすみ おはなしかい:3歳~小学生とその保護者対象 大人のためのおはなし会:16歳以上対象
公津の社 おはなし会	通年	杜のおはなしかい:ひとりできけるお子さん
	各1回	杜のなつやすみ おはなしかい:3歳~小学生とその保護者対象 杜のふゆのおはなしかい:3歳~小学生とその保護者対象
学校訪問 おはなし会	随時	市内の小学校及び義務教育学校(前期課程)を職員とボランティアが訪問し、おはなし会を実施。日頃、親しんでいる種類や分野とは違う本にも興味を持たせ、読書の幅を広げるきっかけづくりをサポートします。
絵本の読み 聞かせ講座	1回	小学校などで読み聞かせをしている人、今後活動予定の人を対象に、講座を開催します。
音訳協力者 養成講座	5回	録音図書の充実や品質向上を目的とし、録音図書製作のための講座を開催します。
資料展示	通年	1階特設展示コーナーと児童展示コーナーでは、2か月ごとに図書館資料の企画展示を行います。2階展示コーナーでも郷土資料などを中心に年2~3回企画展示を行います。
公津の社資料展示	通年	一般展示コーナーと児童展示コーナーでは、1か月ごとに図書館資料の企画展示を行います。
蔵書点検	10月18日~ 10月21日	資料の円滑な活用を図るために、蔵書の一斉点検を行います。

新型コロナウイルス感染症対策のため一部サービスや行事に変更が生じています。

(6) 令和3年度 図書館資料点数及び利用状況

館名	資料点数（令和4年3月31日現在）							資料貸出利用人数及び貸出点数				
	図書（冊）		雑誌 （冊）	A V （点）	録音 図書 備品等 （点）	電子 書籍 ※1 （点）	合計	開館 日数 （日）	利用 人数 （人）	一日 平均 （人）	貸出 冊数 （点）	一日 平均 （点）
	一般書	児童書										
本館	502,965	204,983	43,249	14,013	950	32,310	798,470	291	193,308	664	737,139	2,533
公津の杜分館	85,039	26,864	1,734	0	7	0	113,644	291	72,847	250	283,252	973
公津公民館図書室	3,256	3,362	74	0	0	0	6,692	276	796	3	1,980	7
久住公民館図書室	1,916	2,698	86	0	0	0	4,700	275	1,285	5	5,518	20
橋賀台公民館図書室	3,706	2,909	87	0	0	0	6,702	276	980	4	2,435	9
玉造公民館図書室	4,384	3,788	140	0	0	0	8,312	276	3,197	12	8,721	32
豊住公民館図書室	2,044	2,375	49	0	0	0	4,468	276	315	1	736	3
成田公民館図書室	26,877	11,835	511	0	0	0	39,223	276	6,766	25	23,366	85
加良部公民館図書室	4,126	3,771	51	0	0	0	7,948	276	580	2	1,723	6
中郷公民館図書室	2,826	3,297	50	0	0	0	6,173	275	352	1	946	3
遠山公民館図書室	3,391	3,463	45	0	0	0	6,899	276	396	1	1,134	4
八生公民館図書室	3,281	3,030	51	0	0	0	6,362	276	417	2	979	4
美郷台地区会館図書室	2,982	3,608	167	0	0	0	6,757	276	1,967	7	6,744	24
三里塚コミュニティセンター図書室	5,282	4,698	392	0	0	0	10,372	291	7,162	25	26,548	91
下総公民館図書室	5,183	3,209	68	0	0	0	8,460	276	1,954	7	6,126	22
大栄公民館図書室	6,031	4,765	118	0	0	0	10,914	274	2,273	8	9,313	34
図書宅配便	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	129	-
※2	郵送	-	-	-	-	-	-	-	331	-	741	-
	宅配	-	-	-	-	-	-	-	11	-	30	-
電子書籍※1	-	-	-	-	-	-	-	243	1,141	5	2,989	12
合計	663,289	288,655	46,872	14,013	957	32,310	1,046,096	-	296,104	-	1,120,549	-

※1 青空文庫、Project Gutenbergを含む（青空文庫 11,196、Project Gutenberg 19,760）

※2 障がい者サービス

資料編

成田市教育略年表

年	月	できごと
昭和29年 (1954)	3	成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の7か町村が合併して「成田市」誕生（3月31日）
昭和30年 (1955)	2	滑河町、小御門村、高岡村の1町2村が合併して「下総町」誕生（2月11日）
	4	名木小学校独立
	4	大須賀村、昭栄村の2村が合併して「大栄町」誕生（4月15日）
昭和31年 (1956)	4	長沼小学校が豊住小学校長沼分校となる
	11	成田小プール完成
昭和32年 (1957)	1	下総町の中学校統合、下総中学校設置決まる
	4	下総中学校開校式
	4	新田分校閉校し第3小学校創立、大須賀小第3分校が独立し桜田小学校となる
	9	第3小学校を川上小学校と校名改称
昭和33年 (1958)	4	学校保健法に基づき学校医、歯科医、薬剤師を委嘱
	7	成田中屋内運動場完成
昭和34年 (1959)	3	豊住小学校長沼分校廃止
	4	下総町公民館完成
昭和36年 (1961)	6	「伊能歌舞伎」が千葉県無形文化財に指定
	11	大栄町学校給食開始
昭和37年 (1962)	4	成田小第1棟校舎完成（市内初の鉄筋校舎）
昭和39年 (1964)	4	統合西中学校開校（公津校舎、八生校舎となる）
	5	「おどり花見」が県指定文化財に指定
	6	成田市青少年問題協議会発足
	6	公津公民館オープン
昭和40年 (1965)	4	龍正院本堂、千葉県文化財に指定
	9	西中校舎完成
昭和41年 (1966)	3	寺台に学校給食センター完成、4月から7小・中学校の給食開始
	4	西中成田校舎設置
昭和42年 (1967)	4	西中の成田・八生・公津校舎を廃止、西中の実質統合となる
	11	高岡小体育館完成
昭和43年 (1968)	3	公津小が旧公津中学校舎へ移転
	3	西中屋内運動場完成
	3	下総町で学校給食開始
	7	豊住小プール完成
	8	三里塚小プール完成
	9	市内全小・中学校完全給食実施
	10	小御門小屋内運動場完成
昭和44年 (1969)	2	前林小屋内運動場完成
	4	川上幼稚園開園（園児93名）
	5	成田市老人大学開校
	6	公津小プール完成
	9	滑河小屋内運動場完成
	11	川上幼稚園園舎完成

年	月	できごと
昭和45年 (1970)	2	成田中に武道場完成
	4	中郷中を廃止し、成田中へ統合
	4	成田市史編さん委員会発足
	10	名木小屋内運動場完成
昭和46年 (1971)	3	猿山字和田の砂取場からナウマンゾウの頭骨化石発掘
	4	伊能幼稚園開園（園児84名）
	7	八生小プール完成
	8	船形で宝亀5年（744）の古鐘（重要文化財）発見される
	10	防音校舎第1号三里塚小校舎完成
	11	遠山小、久住第二小、中郷小の防音校舎完成
	11	津富浦小屋内運動場完成
	12	遠山中防音校舎完成
昭和47年 (1972)	4	向台小学校開校
	7	向台小、久住第二小、中郷小、プール完成
	11	東小防音校舎完成
	12	久住第一小防音校舎完成
昭和48年 (1973)	3	公津小屋内運動場完成
	4	加良部小学校、中台中学校開校
	6	公津公民館内成田市視聴覚サービスセンターオープン
	7	遠山小、東小、久住第一小、加良部小プール完成
	10	成田市視聴覚サービスセンター運営委員会発足
昭和49年 (1974)	2	遠山中防音講堂完成
	2	滑河小防音校舎完成
	3	奈土分校を閉校して大須賀小学校へ統合
	3	小御門の森、県指定天然記念物に指定される
	6	久住中防音校舎完成
	7	三里塚小防音講堂完成
	9	学校給食センター玉造分所開設
	10	赤坂公民館オープン
	10	成田市公民館運営審議会発足
	11	大須賀小校舎完成
	12	川上小防音校舎完成
昭和50年 (1975)	3	遠山小、中郷小防音講堂完成
	4	下総町共同利用施設オープン
	4	橋賀台小学校開校
	11	久住第一小防音講堂完成
昭和51年 (1976)	2	下総中防音校舎完成
昭和52年 (1977)	3	新山小学校開校
	3	小御門小防音校舎完成
	3	前林小校舎完成
	3	川上幼稚園園舎完成
	8	新山小校舎完成

成 田 市 教 育 略 年 表

年	月	で き ご と
昭和52年 (1977)	11	豊住小防音校舎完成
昭和53年 (1978)	3	桜田小屋内運動場完成
	4	吾妻小学校、吾妻中学校開校
	5	成田空港開港
	7	橋賀台小プール完成
	11	豊住中防音校舎完成
昭和54年 (1979)	1	八生小屋内運動場完成
	3	久住中防音講堂完成
	3	龍正院銅造宝篋印塔、千葉県文化財に指定される
	3	大須賀小屋内運動場完成
	3	津富浦小校舎完成
	4	中央公民館オープン
	4	学校給食センター玉造分所増設
	7	向台小、加良部小、中台中屋内運動場完成
	7	新山小、吾妻小プール完成
	8	八生小、公津小新校舎完成
	9	川上小屋内運動場完成
	12	成田市就学区域審議会発足
昭和55年 (1980)	2	橋賀台小屋内運動場完成
	3	久住第二小、豊住中防音講堂完成
	3	新山小、吾妻中屋内運動場完成
	3	高岡小防音校舎完成
	7	遠山中、西中プール完成
	7	下総中屋内運動場完成
	9	学校給食センター寺台分所廃止
	10	成田市青少年育成市民会議発足
昭和56年 (1981)	1	吾妻小屋内運動場完成
	3	東小、豊住小防音講堂完成
	4	玉造小学校開校
	6	玉造小プール完成
	7	久住中、豊住中プール完成
	10	三里塚御料牧場記念館オープン
昭和57年 (1982)	2	玉造小屋内運動場完成
	3	成田小屋内運動場完成
	3	名木小防音校舎完成
	4	中台小学校開校
	6	中台小、中台中、吾妻中プール完成
昭和58年 (1983)	4	久住公民館、橋賀台公民館オープン
	4	大須賀中学校と昭栄中学校を統合し、大栄中学校として開校する
	7	老人大学校オープン
	7	第1回成田市公民館まつり開催
昭和59年 (1984)	3	成田中新校舎完成
	3	滑河小屋内運動場完成
	4	玉造公民館、豊住公民館オープン
	10	成田市立図書館オープン
昭和60年 (1985)	4	神宮寺小学校、玉造中学校開校
	6	成田公民館オープン

年	月	で き ご と
昭和60年 (1985)	8	桜田小校舎完成
	12	小御門小屋内運動場完成
昭和61年 (1986)	4	津富浦小屋内運動場完成
	11	寺台河岸跡が市指定文化財に指定される
昭和62年 (1987)	2	取香の三番叟が県指定文化財に指定される
	11	2台目の移動図書館車「こぼと号」運行
昭和63年 (1988)	4	八生公民館オープン
	4	第1回青少年綱引き大会開催
	12	高岡小屋内運動場完成
平成元年 (1989)	1	元号「平成」となる
	3	新公津公民館・中郷公民館オープン
	8	大栄中プール完成
平成2年 (1990)	2	名木小学校体育館完成
	4	平成小学校開校
	4	大栄町学校給食センター完成
	6	下総町学校給食センター完成
	10	新移動図書館車「なかよし号」が「ひかり号」に代わって巡回開始
平成3年 (1991)	4	加良部公民館オープン
	10	美郷台地区会館オープン
	10	下総町多目的ホール完成
	11	大栄町コミュニティプラザホール(現大栄公民館)完成
平成4年 (1992)	2	大慈恩寺所有の古文書が県の有形文化財に指定
	8	名木小プール完成
	9	学校週五日制(第二土曜日休み)開始
平成5年 (1993)	4	本城小学校開校
平成6年 (1994)	3	竜台の百康申を市の文化財に指定
	11	成田市文化財保護協会が創立40周年記念式典を開催
	12	「図説成田の歴史」刊行
平成7年 (1995)	2	下総歴史民俗資料館完成
平成8年 (1996)	3	伊能幼稚園、川上幼稚園が統合し大栄幼稚園開園
	5	遠山公民館オープン
	10	遠山公民館内に市民課分室設置
平成9年 (1997)	2	前林小校舎大規模改修工事完成
	4	米飯給食に成田産自主流通米導入
	7	小御門小プール完成
	9	適応指導教室「ふれあいるーむ21」オープン
平成10年 (1998)	2	津富浦小校舎大規模改修・増築工事完成
	4	成田市教育センターオープン
平成11年 (1999)	7	長興院山門、石橋家の住宅門・南の蔵・東の蔵・土蔵などが文部大臣指定の登録文化財に指定

成 田 市 教 育 略 年 表

年	月	できごと
平成12年 (2000)	3	「成田市生涯学習推進計画」策定
	4	教育委員会が教育総務部と生涯学習部の2部制に
平成13年 (2001)	9	西中新校舎完成
	10	学校評議員制度開始
	2	前林小屋内運動場完成
平成14年 (2002)	3	「成田市学校教育長期ビジョン」策定
	4	老人大学校を生涯大学校に名称変更
平成15年 (2003)	10	「成田市子ども夢基金」設立
	3	西中屋内運動場完成
平成18年 (2006)	5	構造改革特別区域法の国際教育推進特区に認定される
	3	成田市、下総町、大栄町の1市2町が合併して新「成田市」誕生（3月27日）
平成19年 (2007)	4	公津の杜小学校開校
	3	久住中学校新校舎完成
平成21年 (2009)	4	美郷台小学校開校
	5	生涯大学校の新校舎が囲護台に開校、旧校舎は生涯学習会館と名称変更
	2	「龍角寺古墳群・岩屋古墳」国史跡に指定
平成22年 (2010)	3	豊住中学校が61年の歴史に幕、成田中学校へ統合
	9	重要文化財南羽鳥1遺跡出土人頭型土製品が大英博物館で展示される
平成23年 (2011)	3	中学校の普通教室にエアコンを整備
	3	小学校の普通教室にエアコンを整備
平成25年 (2013)	3	久住第一小学校と久住第二小学校が閉校
	3	両校が統合し新たに久住小学校として開校
	3	中郷小学校が閉校し、美郷台小学校へ統合
平成26年 (2014)	8	市史講座「成田の地名と歴史」刊行記念講演会開催
	4	公津の杜中学校開校
	4	公津の杜中学校学校給食共同調理場供用開始
平成27年 (2015)	7	もりんぴあこうづオープン
	7	成田市立図書館 公津の杜分館オープン
	1	成人式を成田空港で開催
平成28年 (2016)	3	東小学校が閉校し、遠山小学校へ統合
	3	下総地区4小学校（滑河小学校、小御門小学校、名木小学校、高岡小学校）が閉校
	4	下総地区4小学校を統合した下総小学校が成田市初の「小中一貫教育校 下総みどり学園」として開校
平成28年 (2016)	4	本城小学校学校給食共同調理場供用開始
	10	新たな教育委員会制度における教育長が選任される

年	月	できごと
平成28年 (2016)	4	町並み」として、日本遺産の認定を受ける
	7	公津の杜小学校学校給食共同調理場供用開始
平成29年 (2017)	7	旧名木小学校が生活介護事業所「ネクスト名木小」としてオープン
	4	「小中一貫教育校 下総みどり学園」が「義務教育学校 下総みどり学園」へ移行
平成30年 (2018)	4	旧豊住中学校が「豊住ふれあい健康館」としてオープン
	9	機構改革により教育総務部と生涯学習部を教育部へ
平成31年 (2019)	9	「もりんぴあこうづ来館100万人達成記念式典」を開催
	3	視聴覚サービスセンター廃止
令和2年 (2020)	4	旧中郷小学校が「中郷ふるさと交流館」としてオープン
	4	美郷台小学校学校給食共同調理場供用開始
令和3年 (2021)	3	大栄地区5小学校（大須賀小学校、桜田小学校、前林小学校、津富浦小学校、川上小学校）、大栄中学校が閉校
	4	「義務教育学校 大栄みらい学園」が開校
	4	豊住小学校で小規模特認校制度を導入
令和4年 (2022)	4	GIGAスクール構想による1人1台の学習用タブレット端末を活用した学習活動の開始
	8	図書館で電子書籍サービスを開始
令和4年 (2022)	4	平成小学校学校給食共同調理場供用開始
	4	旧滑河小学校が「滑河文化財保存展示施設」としてオープン

歴代教育長及び教育委員

令和4年10月1日現在

氏名	委員在任期間	備考(役職)
渡邊 由松	S29.4.27 ~ S31.9.30	委員長S29.4.27 ~ S31.9.30
葛生清三郎	S29.4.27 ~ S31.9.30	
佐瀬三五郎	S29.4.27 ~ S31.9.30	
神崎 正	S29.4.27 ~ S31.9.30	
豊田 操	S29.5.26 ~ S30.9.30	教育長S29.5.26 ~ S30.9.30
松岡 明	S29.5.20 ~ S30.3.30	
行方富太郎	S31.10.1 ~ S32.9.30	教育長S31.10.1 ~ S32.9.30
橋 昌夫	S31.10.1 ~ S47.9.30	委員長S31.10.1 ~ S47.9.30
岩沢 多門	S31.10.1 ~ S38.9.30	
吉岡栄一郎	S31.10.1 ~ S47.9.30	
鈴木 勘	S31.10.1 ~ S33.4.17	
太田 家倚	S32.10.1 ~ S44.9.30	教育長S32.10.1 ~ S44.9.30
野平 吉衛	S33.10.1 ~ S37.9.30	
竹尾クラ子	S37.10.1 ~ S39.10.20	
檜垣 省吾	S38.10.8 ~ S42.5.9	
藤崎 光枝	S40.3.24 ~ S44.9.26	
檜垣 篤	S42.7.1 ~ H4.11.30	教育長S58.4.1 ~ H4.11.30
渋谷 榮一	S44.9.27 ~ H2.9.30	委員長S47.10.1 ~ H2.9.30
阿波壽武夫	S44.10.1 ~ S61.10.14	教育長S44.10.1 ~ S58.3.31
山田 喜一	S47.10.1 ~ S55.9.30	
渡邊 義男	S47.10.1 ~ H8.9.30	委員長H2.10.1 ~ H8.9.30
谷 重吉	S55.10.1 ~ H8.9.30	
石原 芳文	S61.12.9 ~ H9.9.30	
越川 重	H2.10.1 ~ H10.9.30	委員長H8.10.3 ~ H10.9.30
中村 欽哉	H4.12.22 ~ H7.9.30	教育長H4.12.25 ~ H7.9.30
三橋 成一	H7.10.1 ~ H8.8.20	教育長H7.10.1 ~ H8.8.20

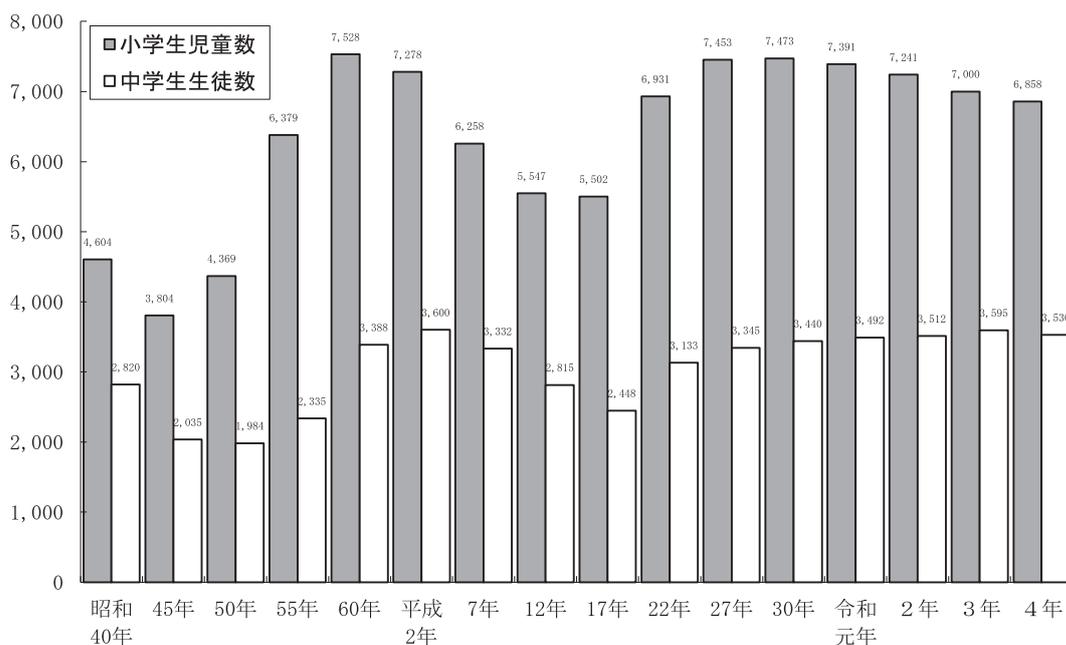
氏名	委員在任期間	備考(役職)
太田 家廣	H8.9.12 ~ H10.5.25	教育長H8.9.12 ~ H10.5.25
荒井 清	H8.10.1 ~ H23.3.31	委員長H10.10.1 ~ H17.9.30 委員長H18.10.6 ~ H23.3.31
大木 みわ	H8.10.1 ~ H16.9.30	
塚本 倫正	H9.10.1 ~ H13.9.30	
鬼澤 佳弘	H10.7.1 ~ H13.6.30	教育長H10.7.1 ~ H13.6.30
伊藤 睦	H10.10.1 ~ H18.9.30	委員長H17.10.1 ~ H18.9.30
藤野 公之	H13.7.1 ~ H16.6.30	教育長H13.7.1 ~ H16.6.30
加瀬間俊勝	H13.10.1 ~ H15.1.20	
山口 恵子	H15.2.19 ~ H25.9.30	
大須賀久大	H16.7.1 ~ H20.4.30	教育長H16.7.1 ~ H20.4.30
小川 信子	H16.10.1 ~ H24.9.30	委員長H23.4.27 ~ H24.9.30
秋山 皓一	H18.10.1 ~ H26.9.30	委員長H24.10.1 ~ H26.9.30
関根 賢次	H20.6.7 ~ H21.6.30	教育長H20.6.7 ~ H21.6.30
佐藤 玉江	H21.7.1 ~ H25.3.31	教育長H21.7.1 ~ H25.3.31
小川新太郎	H23.6.18 ~ R1.9.30	委員長H26.10.1 ~ H27.9.30
高木久美子	H24.10.1 ~ R2.9.30	
関川 義雄	H25.4.1 ~ H27.9.30	教育長H25.4.1 ~ H27.9.30
福田 理絵	H25.10.1 ~ H29.9.30	
佐藤 勲	H26.10.1 ~ 現 在	
片岡 佳苗	H29.10.1 ~ 現 在	
岡本 秀彦	R1.10.1 ~ 現 在	
日暮美智子	R2.10.1 ~ 現 在	

制度改正(平成27年4月1日施行)後に選任された教育長

氏名	在任期間	就任日
関川 義雄	H27.10.1 ~ 現 在	H27.10.1

市立学校の児童生徒数の推移

各年5月1日時点



小学校児童数及び中学校生徒数には、それぞれ義務教育学校の前期課程及び後期課程の数を含む。

市立学校・幼稚園一覧

令和4年5月1日現在

学校名	所在地	電話	児童数	学級数	教職員数	校長名	PTA会長名
成田小学校	幸町948番地1	22-1334	632	23	37	君塚 信宏	横田 昌樹
遠山小学校	小菅1411番地	35-0022	51	7	14	麻生 辰浩	渡辺 仁一
三里塚小学校	本三里塚153番地1	35-0049	374	18	26	村田 正志	熊倉 篤志
久住小学校	久住中央3丁目12番地1	36-0006	497	18	28	實川 弘美	葛生 洋
豊住小学校	北羽鳥1985番地2	37-0004	41	7	12	中村 恆	篠田 純
八生小学校	松崎1468番地	26-8038	52	7	10	渡辺久美子	小川 悟
公津小学校	台方851番地	26-2467	134	8	15	齋藤 弘光	土屋太一郎
向台小学校	中台3丁目6番地	26-4812	224	13	20	小林 孝	漆原 渉
加良部小学校	加良部6丁目8番地	26-3517	474	20	29	岩崎 元	西村 英治
橋賀台小学校	橋賀台3丁目4番地	27-2531	225	10	18	佐藤 悦子	平野 伸一
新山小学校	加良部4丁目23番地	26-6767	203	10	16	藤田 総	土田 勝
吾妻小学校	吾妻2丁目6番地	27-9060	760	25	38	渡辺 和幸	田名辺豊寿
玉造小学校	玉造3丁目4番地	28-3133	212	11	19	塚本 武	工藤 美香
中台小学校	中台1丁目4番地	27-0753	172	8	16	西本貴久江	大竹 裕志
神宮寺小学校	玉造5丁目28番地	26-3677	150	8	17	内田 淳	笹田 勇造
平成小学校	飯仲50番地1	22-1361	556	21	29	永野 喜信	松原光次郎
本城小学校	本城178番地1	35-5533	424	19	30	井上功太郎	平野由利子
公津の杜小学校	公津の杜3丁目2番地	29-7770	741	28	43	葉山 憲一	小祝 彩
美郷台小学校	美郷台2丁目19番地1	23-6011	333	14	24	西宮 信吾	日暮 茂
下総みどり学園 (前期課程)	名古屋1214番地	96-0135	245	13	25	大徳 正博	岩瀬 直良
大栄みらい学園 (前期課程)	伊能125番地	73-4820	358	17	27	阿部 光雄	富岡 克己
小 学 校 計		-	6,858	305	493	-	-

※小学校には、義務教育学校の前期課程を含める。

学校名	所在地	電話	生徒数	学級数	教職員数	校長名	PTA会長名
成田中学校	土屋928番地1	22-0304	516	18	35	濱谷 昌人	糸賀 光樹
遠山中学校	大清水19番地	35-0128	402	16	31	丸 庸仁	清水富美子
久住中学校	久住中央2丁目1番地	36-0602	181	8	18	小山 典之	渡邊 直胤
西中学校	加良部5丁目11番地	26-2606	441	16	32	藤崎 修治	齋藤 一憲
中台中学校	中台4丁目2番地	26-4201	223	10	23	三村 洋一	植田 雅人
吾妻中学校	吾妻1丁目24番地	26-6167	504	18	34	坂尾 稔	雨宮 真吾
玉造中学校	玉造3丁目7番地	27-0677	266	11	25	荒川 博	飯田 知幸
公津の杜中学校	公津の杜5丁目29番地	20-5511	645	22	39	寒川 晃士	櫻井 大輔
下総みどり学園 (後期課程)	名古屋1214番地	96-0135	138	8	18	大徳 正博	岩瀬 直良
大栄みらい学園 (後期課程)	伊能125番地	73-4820	214	11	21	阿部 光雄	富岡 克己
中 学 校 計		-	3,530	138	276	-	-

※中学校には、義務教育学校の後期課程を含める。

幼稚園名	所在地	電話	園児数	学級数	教職員数	園長名	PTA会長名
大栄幼稚園	臼作115番地	73-8005	67	3	7	木村 晶子	高木 友哉

社会教育施設一覧

令和4年4月1日現在

施設名	所在地	電話番号	延床面積
中央公民館	赤坂1丁目1番地3	27-5911	2,578㎡
公津公民館	宗吾1丁目839番地1	26-9610	556㎡
久住公民館	幡谷922番地2	36-1646	552㎡
橋賀台公民館	橋賀台1丁目43番地1	26-9695	532㎡
玉造公民館	玉造7丁目21番地	26-3644	550㎡
豊住公民館	北羽鳥2024番地1	37-1003	549㎡
成田公民館	田町299番地2	24-0787	1,603㎡
八生公民館	松崎317番地	27-1533	554㎡
中郷公民館	赤荻1587番地1	22-4614	551㎡
加良部公民館	加良部3丁目4番地1	28-7961	542㎡
遠山公民館	大清水48番地7	35-0600	1,000㎡
下総公民館	高岡1435番地	96-0090	2,489㎡
大栄公民館	松子393番地	73-7071	2,706㎡
成田市立図書館	赤坂1丁目1番地3	27-2000	5,179㎡
成田市立図書館公津の杜分館	公津の杜4丁目8番地	27-7100	1,011㎡
三里塚御料牧場記念館	三里塚御料1番地34	35-0442	422㎡
下総歴史民俗資料館	高岡1500番地	96-0080	666㎡
滑河文化財保存展示施設	滑川1142番地	96-0024	1,428㎡
生涯大学校	囲護台1385番地6	20-3339	551㎡
生涯学習会館	花崎町523番地1	22-3958	332㎡
美郷台地区会館	美郷台3丁目3番地9	24-4352	605㎡

学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧

令和4年4月1日現在

学 校 名	学 校 医			学校歯科医		学校薬剤師
	内 科 (*相談医)	耳 鼻 科	眼 科			
成田小学校	大田 暁 (健康管理医)	池宮城慶寛	土井 靖子	中村 始 日暮 寛之 諸岡 治 新井 孝男	大德 秀幸	
	藤倉 國男 長谷川 修					
	小田 優子					
遠山小学校	* 太田不二雄	橘 昌利	土井 靖子	岡本 英彦	鈴木 廣邦	
三里塚小学校	* 平野 憲朗 小倉 宏道	山本陸三朗	土井 靖子	中村 始 藤崎 芳明	鈴木 廣邦	
久住小学校	* 菅谷 芳樹 牧瀬 敏裕	池宮城慶寛	伊豫田 稔	大野文之助 田中 和典 大野 康央	眞鍋 知史	
	京増 芳則					
豊住小学校	* 平野 憲朗	橘 昌利	加部東武徳	大野 康央	平間多美代	
八生小学校	* 京増 芳則	池宮城慶寛	加部東武徳	伊東総一郎	平間多美代	
公津小学校	* 木下 真子	橘 昌利	保津 治道	平田 収	梅澤 功	
向台小学校	* 安 徳純 佐久間恵一	橘 昌利	加部東武徳	諸岡 治 栗田 隆史	三橋 恒子	
加良部小学校	* 黄 重毅 里見 久恵	山本陸三朗	加部東武徳	平田 収 永井 和広 萩原 領一	高山 修	
	渡辺 智之					
橋賀台小学校	* 渡邊 剛毅 内山 明江	山本陸三朗	保津 治道	萩原 大輔 栗田 隆史	木内 規之	
新山小学校	* 安 徳純 塚田 雄大	山本陸三朗	保津 治道	大木 康有 萩原 大輔	穴倉 弘記	
吾妻小学校	小倉 宏道 (健康管理医)	池宮城美由子	宇高 靖	齊藤 政治 阿部 智之 新井 孝男 青木 雅憲	伊藤 雅代	
	立花智津子 菅谷 芳樹					
	佐久間恵一					
玉造小学校	* 小田 龍二 尾崎 晴彦	池宮城美由子	宇高 靖	鳥山 栄 鈴木 正徳	伊藤 雅代	
中台小学校	* 中島 正之	池宮城美由子	井上 順治	池田 信子	板谷 徹	
神宮寺小学校	* 片岡 満男	池宮城美由子	宇高 靖	林田 弘毅	板谷 徹	
平成小学校	* 内山 明江 石神 博昭	橘 昌利	井上 順治	藤田 美之 野内 一嘉 小出 正義	遠藤 喜成	
	里見 久恵					
本城小学校	* 麻野 次男 大田 暁	山本陸三朗	宇高 靖	岡田 秀彦 高橋 洋樹 青木 雅憲	鈴木美知代	
	伊藤 眞綱					
公津の杜小学校	黒田 央文 (健康管理医)	橘 昌利	保津 治道	伊藤 健二 日暮 寛之 青柳 和孝 阿部 智之	仲野 秀典	
	木下 真子 伊藤けい子					
	鈴木ティベリユウ浩志					
美郷台小学校	* 木内宗三郎 小倉 一久	池宮城慶寛	土井 靖子	鈴木 正徳 伊東総一郎	石井 通子	
成田中学校	* 藤倉 國男 石原 輝英	池宮城慶寛	伊豫田 稔	岡本 英彦 栗田 隆史 伊東総一郎	大德 秀幸	
	長谷川 修					
遠山中学校	* 伊藤 真典 太田不二雄	橘 昌利	井上 順治	角田 幸弘 渡部 一郎	鈴木美知代	
久住中学校	* 小倉 一久	池宮城慶寛	伊豫田 稔	大野 康央	眞鍋 知史	
西中学校	* 石神 博昭 石川 鋭	山本陸三朗	加部東武徳	永井 和広 富澤 圭一 石坂 拓也	木内 規之	
	櫻田 正也					
中台中学校	* 立花 浩幸 渡邊由希子	池宮城美由子	井上 順治	萩原 研一 高橋 洋樹	三橋 恒子	
吾妻中学校	* 川島 明 中島 正之	池宮城美由子	宇高 靖	萩原 領一 岩松 晃弘 石坂 拓也	金子 泰史	
	加地さとみ					
玉造中学校	* 尾崎 晴彦 松崎 時夫	池宮城美由子	加部東武徳	鳥山 栄 野内 一嘉	三橋 恒子	
公津の杜中学校	渡邊 剛毅 (健康管理医)	橘 昌利	保津 治道	藤田 美之 青柳 和孝 齊藤 政治 岩松 晃弘	穴倉 弘記	
	木内宗三郎 中町 裕					
	黄 重毅					
下総みどり学園	前 矢野 潔 (健康管理医)	池宮城慶寛	伊豫田 稔	角田 幸弘 岩松 晃弘	金子 泰史	
	後 根本 明久					
大栄みらい学園	前 岡崎 亘裕 (健康管理医)	山本陸三朗	土井 靖子	藤崎 芳明 小太刀眞人	木内 茂喜	
	後 牧瀬 敏裕					
	後 横山 裕亮 清田 育男	山本陸三朗	土井 靖子	伊藤 健二 岡田 秀彦	木内 茂喜	
大栄幼稚園	牧瀬 敏裕	池宮城慶寛	土井 靖子	入田 雅之	鈴木美知代	

市内指定文化財等一覧

令和4年4月1日現在

国指定文化財一覧 (重要文化財)

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	建造物	竜正院仁王門	滑川	龍正院	延5.5.24	1棟	室町時代中頃の建築
2	〃	旧御子神家住宅	大竹	千葉県	昭和44.6.20	1棟	房総のむらへ移築復元、安永8年(1779)建立
3	〃	旧学習院初等科正堂	大竹	千葉県	昭和48.6.2	1棟	房総のむらへ移築復元、明治32年(1899)建立
4	〃	新勝寺 (光明堂) (釈迦堂) (三重塔) (仁王門) (額堂)	成田	新勝寺	昭和55.5.31	5棟	元禄の旧本堂、元禄14年(1701)建立 安政の旧本堂、安政5年(1858)建立 正徳2年(1712)建立 文政13年(1830)建立 文久元年(1861)建立
5	彫刻	木造不動明王及二童子像	成田	新勝寺	昭和39.5.28	3躯	新勝寺の本尊
6	書跡	住吉物語	田町	成田山仏教図書館	昭和43.4.25	1帖	鎌倉時代中期の擬古物語
7	考古資料	南羽鳥中岫1遺跡土坑出土品	栄町	成田市	平成15.5.29	一括	人頭形土製品をはじめ縄文時代前期の土器・耳飾り・垂飾品など。千葉県立房総のむら、風土記の丘資料館蔵
8	史跡	龍角寺古墳群・岩屋古墳	大竹他	国・千葉県・栄町・成田市・個人	平成21.2.21	-	追加指定・名称変更(岩屋古墳:昭和16.1.27)

(登録文化財)

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	登録年月日	員数	備考
1	建造物	長興院山門	伊能	長興院	平成11.7.8	1棟	木造楼門、瓦葺、建築面積22㎡
2	〃	石橋家住宅門	久井崎	個人	平成11.7.8	1棟	木造平屋建、瓦葺、建築面積5㎡
3	〃	石橋家住宅南の蔵	久井崎	個人	平成11.7.8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積31㎡
4	〃	石橋家住宅東の蔵	久井崎	個人	平成11.7.8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積30㎡
5	〃	石橋家住宅土蔵	久井崎	個人	平成11.7.8	1棟	土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積40㎡
6	〃	大野屋旅館	仲町	個人	平成17.2.9	1棟	木造3階建、スレート葺、建築面積603㎡、望楼付
7	〃	一粒丸三橋薬局店舗	仲町	個人	平成22.1.15	1棟	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積63㎡
8	〃	一粒丸三橋薬局土蔵	仲町	個人	平成22.1.15	1棟	土蔵造2階建、瓦葺、建築面積42㎡
9	〃	川豊本店店舗	仲町	川豊	令和2.4.3	1棟	木造3階建、金属板葺、建築面積146㎡

県指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定・認定年月日	員数	備考
1	建造物	龍正院本堂	滑川	龍正院	昭和40.4.2	1棟	附 厨子一基 元禄11年(1698)建立
2	〃	旧平野家住宅	大竹	千葉県	昭和47.1.28	1棟	房総のむらへ移築復元、江戸中期末の民家
3	〃	龍正院銅造宝篋印塔 附銅造棟札1枚	滑川	龍正院	昭和54.3.2	1基	享保3年(1718)鑄造の棟札
4	彫刻	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	大竹	円光寺	昭和57.4.6	3躯	延慶2年(1309)銘
5	〃	木造薬師如来坐像	船形	薬師寺	平成4.2.28	1躯	鎌倉時代の作
6	〃	木造阿弥陀如来及び両脇侍像	冬父	迎接寺	平成5.2.26	3躯	平安時代末～鎌倉時代の作
7	〃	木造金剛力士立像	船形	薬師寺	平成10.3.20	2躯	鎌倉時代の作
8	工芸	半円方格帯変形神獸鏡	土屋	成田山霊光館	昭和43.4.26	1面	下方、浅間下の通称丸塚より出土
9	〃	梵鐘(乾元二年在銘)	土室	祥鳳院	昭和44.1.10	1口	1303年
10	〃	梵鐘(応長元年在銘)	宗吾	薬師寺	昭和48.3.2	1口	1311年(東勝寺蔵)
11	〃	梵鐘(延慶三年在銘)	吉岡	大慈恩寺	昭和49.3.19	1口	1310年
12	〃	鑄銅雲版(応永十五年在銘)	台方	超林寺	昭和52.3.8	1面	1408年
13	〃	鑄銅罎口(永正十三年在銘)	高岡	龍正院	昭和57.4.6	1口	1516年(成田市下総歴史民俗資料館で展示)
14	古文書	天正檢地帳 (下総国香取郡遠山之庄御繩水帳) (下総国香取郡金山郷御繩打之水帳)	赤坂	個人	昭和57.4.6	2冊	天正19年(1591)の檢地帳(市立図書館蔵)
15	考古資料	新勝寺板石塔婆二基 (延元元年、明徳五年在銘)	成田	新勝寺	昭和34.4.24	2基	下総式板碑延元元年(1336)、明徳5年(1394)銘
16	〃	猫作・栗山古墳群 第16号墳副葬品	高岡	成田市	平成6.2.22	一括	石枕3点、立花15点ほか
17	歴史資料	大慈恩寺宝物類	吉岡	大慈恩寺	平成5.2.26	73点	古文書類51点、絵画19点、金銅装箱3点
18	無形文化財	武術天真正伝香取神道流	下福田	大竹利典	昭和60.11.29	-	認定者 大竹利典
			下福田	大竹信利	平成16.3.30	-	認定者 大竹信利

県指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
19	有形民俗文化財	迎接寺の鬼舞面	冬父	迎接寺	昭和29.12.17	13面	附衣裳11点 菊紋葵紋付桐箱1合
20	〃	新勝寺絵馬類	土屋	成田山霊光館	昭和38.5.4	22面	天保2年～明治35年(1902)奉納(昭和54年6月15日に内容告示)
21	〃	成田の商業用具	土屋	成田山霊光館	昭和50.12.12	100点	成田山講社定宿の看板ほか
22	〃	楽満寺の安産子育て祈願資料	中里	楽満寺	平成29.3.7	-	4件42点(板絵馬19・ガラス絵馬19・背負観音厨子2・如意輪観音掛軸版木2)
23	無形民俗文化財	成田のおどり花見	成田	成田市おどり花見保存会	昭和39.4.28	-	国記録選択 江戸時代より伝承された弥勒おどり
24	〃	取香の三番叟	取香	取香三番叟保存会	昭和62.2.27	-	毎年4月第1土曜日に演じられる
25	史跡	小野派一刀流流祖小野次郎右衛門忠常墓	寺台	永興寺	昭和18.4.30	-	小野派一刀流流祖・開祖の墓
26	〃	八代玉作遺跡	玉造	成田市	昭和41.12.2	-	管玉を主とした古代玉作遺跡
27	〃	公津原古墳群	ニュータウン他	成田市他	平成2.3.16	40基	5世紀～7世紀の築造
28	天然記念物	小御門神社の森	名古屋	小御門神社	昭和49.3.19	-	16,881㎡
29	〃	麻賀多神社の森	台方	麻賀多神社	昭和52.3.8	-	6,386㎡の社叢林

市指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	建造物	薬師堂	上町	新勝寺	昭和44.11.3	1棟	明暦の旧本堂 明暦元年(1655)建立
2	〃	鐘楼	成田	新勝寺	昭和44.11.3	1棟	元禄14年(1701)建立
3	〃	一切経蔵	成田	新勝寺	昭和44.11.3	1棟	享保7年(1722)建立
4	〃	清滝権現	成田	新勝寺	昭和44.11.3	1棟	享保17年(1732)建立
5	〃	石造多層塔	大竹	円光寺	昭和44.11.3	1基	七層の石塔 応永10年(1403)銘
6	〃	麻賀多神社本殿	台方	麻賀多神社	昭和46.11.3	1棟	寛文13年(1673)建立
7	〃	輪転経蔵	成田	新勝寺	昭和47.11.3	1棟	享保年間の建造か
8	〃	龍正院宝篋印塔群	滑川	龍正院	昭和54.3.1	11基	慶長4年(1599)～寛永11年(1634)
9	〃	山王社(本殿)	奈土	昌福寺	昭和49.6.25	1棟	
10	絵画	絹本着色阿弥陀三尊来迎図	郷部	観音堂宝物保存会	平成10.12.25	1幅	江戸時代初期の作
11	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	土屋	薬王寺	昭和44.11.3	1躯	鎌倉時代の作
12	〃	木造延命地藏菩薩立像	幡谷	延命院	昭和45.11.3	1躯	鎌倉時代の作
13	〃	十一面観世音菩薩立像	稲荷山	個人	昭和55.5.12	3躯	中国「唐」時代の渡来仏か
14	〃	木造聖観音坐像	寺台	永興寺	昭和60.2.1	1躯	応永6年(1399)銘
15	〃	木造観音菩薩立像	土室	土室台郭観音保存会	平成11.12.20	1躯	南北朝時代の作
16	〃	木造虚空蔵菩薩坐像	江弁須	正蔵院	平成10.3.27	1躯	南北朝時代の作
17	〃	銅造十一面観音菩薩像	村田	耕田寺	平成2.3.9	1躯	南北朝時代の作
18	〃	昌福寺欄間	奈土	昌福寺	平成15.2.4	11面	元禄年間の作
19	〃	木造地藏菩薩坐像	新井	駒野高福寺	平成25.3.25	1躯	13世紀後半の作
20	〃	木造薬師如来坐像	成田	新勝寺	平成26.8.26	1躯	12世紀前半の作
21	工芸	懸仏	大竹	観行院	昭和47.11.3	1面	紀年銘なし
22	〃	保目神社の懸仏	寺台	寺台保目神社宝物保存会	平成13.12.4	1面	室町時代の作か
23	書跡	国学者鈴木雅之の著書	田町	成田山仏教図書館	昭和44.11.3	79点	民政要論略篇ほか
24	〃	高札類	土屋	成田山霊光館	昭和44.11.3	7点	邪宗門禁止の高札ほか
25	〃	神山魚貫苔清水版木	土屋	成田山霊光館	昭和44.11.3	57点	幕末の歌人神山魚貫「苔清水」の版木
26	〃	幡谷家文書	赤坂	個人	昭和47.11.3	一括	北条氏政・氏直の文書ほか(市立図書館蔵)
27	考古資料	板石塔婆	宗吾	東勝寺	昭和44.11.3	2基	下総式板碑 康永元年(1342)銘
28	〃	硬玉製大勾玉	幸町	個人	昭和44.11.3	1個	郷部出土コの字形勾玉
29	〃	平貞胤供養碑	台方	超林寺	昭和45.11.3	1基	観応2年(1351)銘
30	〃	経筒	土屋	成田山霊光館	昭和44.11.3	1基	大永8年(1528)銘
31	〃	弥生式土器	土屋	成田山霊光館	昭和44.11.3	1基	南関東系弥生式土器
32	〃	竜角寺出土文字瓦	土屋	成田山霊光館	昭和44.11.3	2点	「朝布」「加刀利」のへら書
33	〃	八代玉作出土品	土屋	成田山霊光館	昭和45.11.3	1点	管玉の製作工程を示す遺物ほか
34	〃	大和田玉作り資料	高岡	成田市	昭和54.3.1	18ヶス	古墳時代中期の玉類製作工程を示す資料
35	史跡	大慈恩寺板碑群	吉岡	大慈恩寺	平成2.3.9	27基	南北朝～室町時代の下総型板碑群
36	考古資料	南羽鳥正福寺遺跡第1地点1号墳出土埴輪	高岡	成田市	平成13.12.4	一括	ムササビ形をはじめとする形象埴輪や円筒埴輪

市指定文化財

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
37	歴史資料	伊能図(中図)	田町	成田山仏教図書館	平成8.3.19	8枚	大きいもので縦8尺6寸横4尺 小さいもので縦4尺8寸横4尺2寸
38	有形民俗文化財	竜台の百庚申	竜台	竜台百庚申保存会	平成6.3.15	100基	宝暦2年(1752)～安政6年(1777)銘
39	〃	紙本著色地藏十王図	郷部	観音堂宝物保存会	平成10.12.25	11幅	江戸時代中期の作
40	歴史資料	算額	中里	楽満寺	平成29.7.25	1点	算額絵馬
41	無形民俗文化財	麻賀多神社獅子舞	台下方	麻賀多神社獅子舞保存会	昭和50.10.6	-	毎年7月最終日曜日に演じられる
42	〃	北羽鳥香取神社獅子舞	北羽鳥	北羽鳥香取神社獅子舞保存会	昭和50.10.6	-	毎年4月第1日曜日に演じられる
43	〃	西大須賀の神楽	西須賀	西大須賀郷土芸能保存会	平成8.12.25	-	毎年4月15日・16日前の土・日曜日に八幡神社、耀窟神社で演じられる
44	〃	伊能歌舞伎	伊能	伊能歌舞伎保存会	平成14.2.5	-	
45	史跡	国学者鈴木雅之の墓	南羽鳥	個人	昭和44.11.3	1基	鈴木家累代の墓地内
46	〃	式内社麻賀多神社	台方形	麻賀多神社	昭和44.11.3	2社	台方社、船形社の2社
47	〃	利生塔礎石群	吉岡	大慈恩寺	昭和51.11.11	一括	元禄16年(1703)再建の利生塔礎石群
48	〃	前林一石一字経文塚享保20年	前林	個人	昭和53.12.21	1基	享保20年(1735)の碑文
49	〃	寺台河岸跡	寺台	個人	昭和61.11.3	-	江戸時代、成田水運の要地
50	〃	奈土貝塚	奈土	個人	平成2.3.9	-	ヤマトシジミ主体の縄文時代晩期の地点貝塚
51	天然記念物	来迎寺の大カヤ	松崎	来迎寺	昭和46.11.3	1樹	目通り幹回り約4メートル
52	〃	押畑の大シイ	押畑	個人	昭和46.11.3	1樹	〃 約9メートル
53	〃	久米の大シイ	久米	個人	昭和47.11.3	1樹	〃 約5メートル
54	〃	新勝寺の大ケヤキ	成田	新勝寺	昭和47.11.3	1樹	〃 約6メートル
55	〃	水神の森	北須賀	麻賀多神社	昭和58.11.3	-	松の木16本の森
56	〃	東光寺のイヌマキ	青山	東光寺	昭和59.6.14	1樹	目通り幹回り約4メートル
57	〃	赤荻の大エノキ	赤荻	成田市	平成23.3.1	1樹	〃 約4.3メートル
58	名勝	夫婦松と芭蕉句碑	滑川	龍正院	昭和62.4.21	-	寛政5年(1793)銘

記録選択

番号	種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数	備考
1	無形民俗文化財	成田のおどり花見	成田	成田市おどり花見保存会	昭和53.1.31	-	国記録選択 江戸時代より伝承された弥勒おどり
2	〃	奈土のオビシヤ	奈土	奈土5区・6区	平成4.2.28	-	県記録選択 毎年2月13日後の土曜日から日曜日に実施

市内大学・高等学校・私立小中学校・私立幼稚園・私立認定こども園

◎大学

大 学 名	所 在 地	電 話 番 号
国際医療福祉大学 成田キャンパス	公津の杜4丁目3番地	20-7701

◎高等学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
県立成田西陵高等学校	松崎20番地	26-8111
県立成田国際高等学校	加良部3丁目16番地	27-2610
県立成田北高等学校	玉造5丁目1番地	27-3411
県立下総高等学校	名古屋247番地	96-1161
私立成田高等学校	成田27番地	22-2131

◎私立小中学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号
成田高等学校附属小学校	田町10番地	23-1628
成田高等学校附属中学校	成田27番地	22-2131

◎私立幼稚園

幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号
成田幼稚園	上町633番地2	22-0059
三里塚幼稚園	三里塚御料1番地674	35-0139
はぼたん幼稚園	加良部1丁目11番地	28-1234
聖徳大学附属成田幼稚園	中台3丁目8番地	26-3371
くすのき幼稚園	船形828番地	26-6688
はしが台幼稚園	橋賀台3丁目5番地	26-5661
公津の杜幼稚園	公津の杜4丁目7番地1	27-6699

◎私立認定こども園

名 称	所 在 地	電 話 番 号
成田国際こども園	大袋379番地	85-6593
ハレルヤこども園	並木町141番地3	85-4170
はくと幼稚園	吾妻3丁目51番地	26-2331
玉造幼稚園	玉造5丁目1031番3	28-3131
めぶき保育園なりた	美郷台3丁目9番1	85-7971

令和4年度 なりたの教育

発行 成田市教育委員会
編集 教育部教育総務課
〒286-8585
成田市花崎町760番地
電話 0476-20-1580

発行日 令和4年10月
登録番号 成教総 22-018



この印刷物は、環境にやさしい大豆油インキを使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

本なりたの教育は、再生紙を使用しています。